

平成
28年度

大分県地域リハビリテーション

活動報告書

大分県リハビリテーション支援センター

独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

目 次

○ごあいさつ	1
○大分県における支援体制	
1. 大分県における地域リハビリテーション支援体制	2
・大分県リハビリテーション支援センター運営部運用規程	
2. 県下関係機関との連携	4
・三者会議運用規程、拡大運営会議運用規程、イメージ図	
○大分県リハビリテーション支援センター活動報告および地域リハビリテーション関連活動報告	
1. 平成 28 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ	8
2. 平成 28 年度実施事業の詳細	10
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告	14
4. おおいた食のリハビリテーション研究会活動報告	18
○大分県地域リハビリテーション広域支援センター活動報告	
・ 東部圏域 東国東地域	22
・ 東部圏域 別杵速見地域	23
・ 中部圏域 大分地域	25
・ 中部圏域 臼津地域	26
・ 南部圏域 佐伯地域	28
・ 豊肥圏域 大野地域	29
・ 豊肥圏域 竹田地域	30
・ 西部圏域 日田玖珠地域	32
・ 北部圏域 中津地域	34
・ 北部圏域 宇佐高田地域	35

○県内職能団体活動報告（五十音順）

・ 一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会	38
・ 公益社団法人 大分県栄養士会	40
・ N P O 大分音楽療法研究会	42
・ N P O 法人 大分県介護支援専門員協会	44
・ 一般社団法人 大分県介護福祉士会	46
・ 公益社団法人 大分県看護協会	48
・ 公益社団法人 大分県言語聴覚士会	50
・ 公益社団法人 大分県作業療法協会	52
・ 一般社団法人 大分県歯科医師会	54
・ 一般社団法人 大分県歯科衛生士会	56
・ 大分県視能訓練士会	58
・ 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	60
・ 大分県地域リハビリテーション研究会	62
・ 一般社団法人 大分県病院協会	64
・ 公益社団法人 大分県放射線技師会	66
・ 公益社団法人 大分県薬剤師会	68
・ 公益社団法人 大分県理学療法士協会	69
・ 公益社団法人 大分県臨床検査技師会	71
・ 公益社団法人 大分県臨床工学技士会	73
・ 大分県臨床心理士会	75

連絡先一覧

1. 県リハセンター、広域支援センター所在地・連絡先	77
2. 県内職能団体連絡先	78



ごあいさつ

大分県リハビリテーション支援センター長 根橋 良雄

平素よりリハビリテーション活動およびリハビリテーション支援活動に尽力されている大分県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課、広域支援センターそして各職能団体の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと拝察申し上げます。また大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）の運営にご理解・ご協力をいただいていることに深く御礼申し上げます。

ここで、昨年度の悲しい出来事をひとつ報告させていただきます。平成21年3月まで県リハ支援センター長でありました湯布院厚生年金病院院長（当時）の有田眞先生が平成29年2月11日に逝去されました。ご冥福をお祈りいたしますとともに、有田先生のご遺志を受け継ぎ、今後も地域リハビリテーション活動・地域包括ケア構築活動を推進するために貢献していきたいと考えております。

さて、平成28年度は、県、県リハ支援センター、広域支援センターの関係が変わりました。従来は広域支援センターの活動費は直接県から広域支援センターへ支給されておりましたが、今回から県から県リハ支援センターへ支給されたものを広域支援センターへ配分することとなりました。そうした仕組みの初年度として、皆様方からご理解とご協力を得て大きな混乱なく運営できたことに感謝いたします。

また、県リハ支援センターでは、県と相談のうえで平成28年度の事業計画重点項目として、災害を想定した「災害時リハ支援体制の構築」を挙げていました。その作業を進めていた最中に昨年（平成28年）4月に熊本地震がおきてしまいました。そうしたなかで県、広域支援センター、職能団体の皆様のご理解とご尽力により、南阿蘇村へ2陣3チームによる災害リハビリテーション支援をおこなうことができました。この場を借りて感謝いたします。そして県リハ支援センターは災害時のリハビリテーション支援活動のために、平時から教育・研修の場を用意し、災害発生時における派遣チームの活動力強化を図ることとしております。

おわりに、関係する皆様・機関・団体に対し、益々のご発展を祈念申し上げますとともに、今後も県リハ支援センターの活動にご理解・ご支援・ご協力を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

JCHO湯布院病院
大分県リハビリテーション支援センター運営部
運用規程

(目的)

1. 大分県リハビリテーション支援センター（以下「県リハセンター」という。）の円滑な事業運営を推進し、広域支援センターをはじめとする関係機関・関係団体との連携を図ることを目的とし、JCHO湯布院病院に県リハセンター運営部（以下「運営部」という。）を設置する。

(組織)

2. 病院長は県リハセンターの事業全般を統括・指揮する。副院長は病院長を補佐し、県リハセンターの円滑な事業運営を図るため、運営部長として運営部を管理・運営する。運営部に企画調整室、支援連携室を置く（組織図参照）。

(企画調整室)

3. 企画調整室は医局、看護部、リハビリテーション科、医療福祉相談室、事務部から病院長が指名する職員をもって構成し、事業計画の策定、事業内容の企画・調整、調査・研究等を担当する。また院内において、すでに活動している介護予防推進活動（転倒予防プロジェクト班、生活習慣病予防プロジェクト班、摂食嚥下障害対策プロジェクト班）を県リハセンターの協同事業として位置づけ、各プロジェクト班の係と密接な連携を図る。なお、計画の策定にあたっては、大分県福祉保健部健康づくり支援課ならびに大分県地域リハビリテーション研究会と連絡・連携を図るものとする。

(支援連携室)

4. 支援連携室はリハビリテーション科、医療福祉相談室から病院長が指名する職員若干名をもって構成し、企画調整室で策定された事業計画の実施にあたるほか、県リハセンターの窓口として、関係機関・関係団体との連絡、調整等を行う。また、運営部としての事務を担当する。

(協力部門)

5. 医局、看護部及び診療協力機関の各部門（リハビリテーション科、医療福祉相談室、栄養部、薬剤科、心理相談室）は、事業の円滑な実施が図られるよう、協力部門として積極的な事業協力を行う。

(任期)

6. 企画調整室、支援連携室の職員の任期は原則として1年とする。ただし、任期満了の1ヵ月前までに病院長、職員双方から何らかの意思表示がないときは、任期を1年毎に延長するものとする。

(運営委員会)

7. 運営部の円滑な運営を図るため、運営委員会を置く。
 - (1) 運営委員会は運営部長、企画調整室、支援連携室の職員で構成され、運営部長を議長とする。
 - (2) 議長は原則として毎月1回定例の運営委員会を開催し、次の事項を審議する。

- ・事業計画、事業予算の検討、策定
- ・事業内容の検討、実施
- ・研修計画の検討、実施
- ・関係機関、関係団体との連絡調整
- ・事業報告、事業決算の検討、策定
- ・その他必要な事項

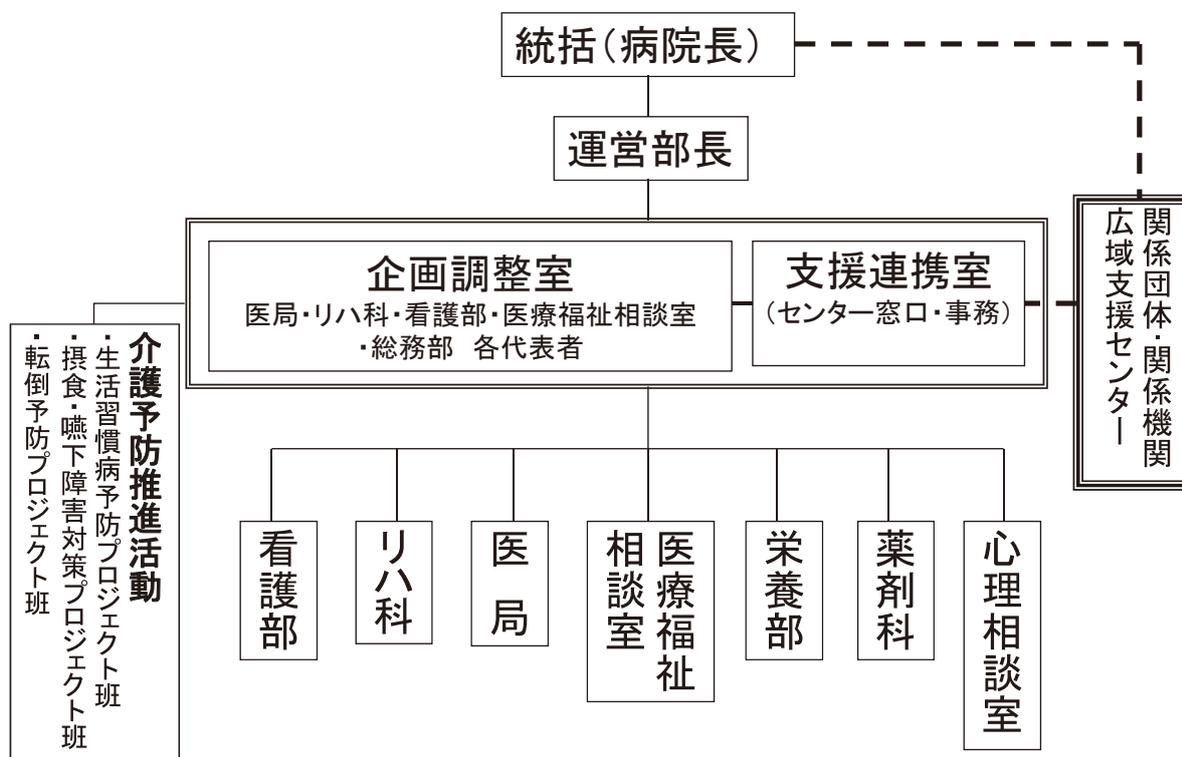
(3) 議長は必要に応じて臨時に運営委員会を開催できるものとする。

(4) 議長は必要に応じて運営委員会に、協力部門等に所属する職員の出席を要請し、意見を聞くことができるものとする。

附 則 この運用規程は平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この運用規定は平成 26 年 4 月 1 日に病院経営母体の移行に伴う名称の変更を行う。

JCHO湯布院病院 大分県リハビリテーション支援センター(県リハセンター)運営部の組織図



大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（三者会議） 運 用 規 程

（目 的）

1. 県下における地域リハビリテーション支援体制事業を、大分県・県リハセンター及び広域支援センターの3者が協調し地域の実情を踏まえバランス良く展開するための協議機関として大分県・県リハセンター・広域支援センター合同会議（略称：三者会議）を設置する。

（構 成）

2. 会議の構成は以下の通りとする。
 - 1) 大分県健康づくり支援課：代表者若干名
 - 2) 県リハセンター：10名
(院長・副院長・事務部長・看護部長・企画調整室及び支援連携室職員)
 - 3) 広域支援センター：各センター代表者1名
(希望があれば同伴者2名以内可能とする)

（会 議）

3. 会議の開催は原則年2回とする。
 - 1) 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター統括（院長）が務め、副議長は県リハセンター運営部長（副院長）が務める。
 - 2) 副議長は、議長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

附 則 この運用規定は平成15年6月4日から施行する。

平成28年4月1日より大分県リハビリテーション支援センター業務の委託料一元化に伴ない、三者会議の位置づけの変更を行なう。

県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議） 運 用 規 程

（目 的）

1. 大分県リハビリテーション支援センターの事業立案に向けた情報収集、並びに事業の円滑な運営に向け、県内の保健・医療・福祉分野における専門職能団体間の緊密な協力と調整を図ることを目的に、県リハセンター拡大運営会議（略称：拡大運営会議）を設置する。

（構 成）

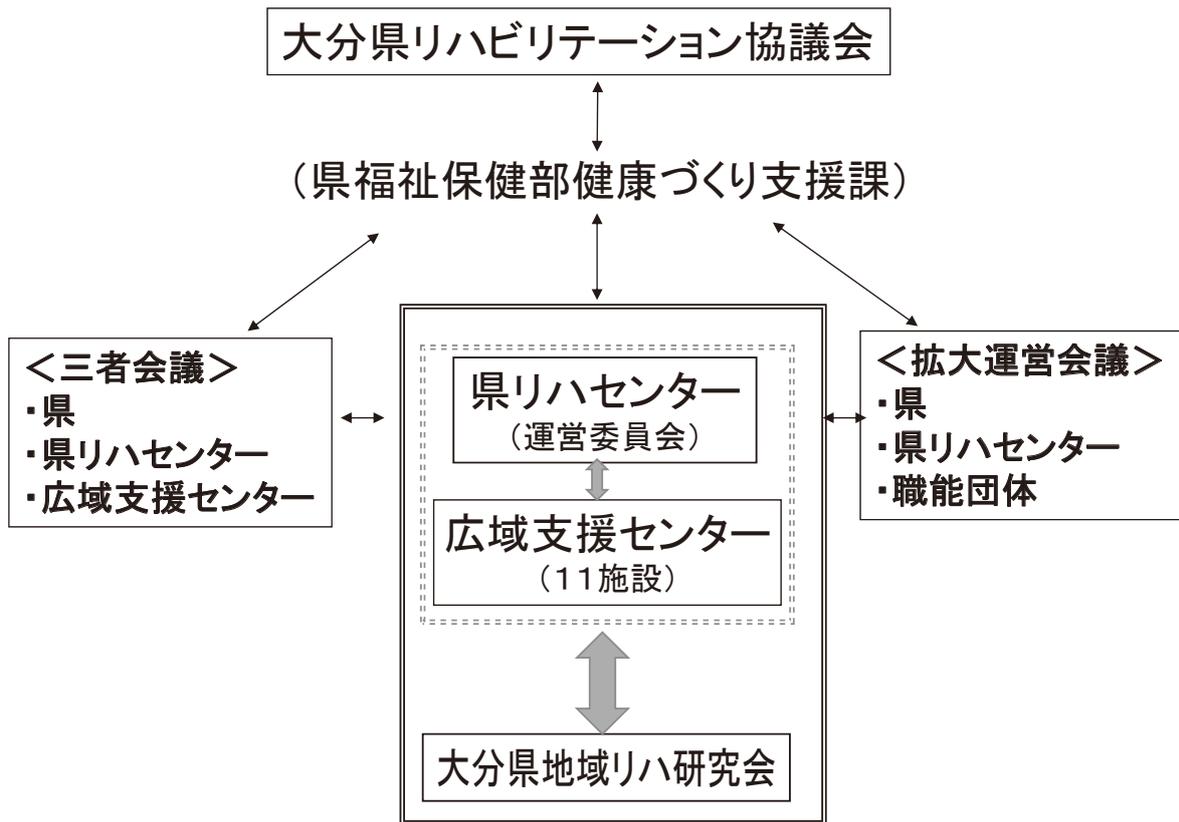
2. 会議の構成は、県リハセンター10名（院長・副院長・事務部長・看護部長・企画調整室及び支援連携室職員）、県健康づくり支援課代表者若干名、及び必要と認める各種団体の代表者とする。各種団体については別に定める。

（会 議）

3. 会議の開催は、原則年1回とする。
 - 1) 会議には議長及び副議長を置く。議長は県リハセンター統括（院長）が務め、副議長は県リハセンター運営部長（副院長）が務める。
 - 2) 副議長は、議長を補佐し事故あるときはその職務を代行する。

附 則 この運用規定は平成15年11月12日から施行する。

三者会議・拡大運営会議の位置づけ



11の広域支援センター（平成29年4月1日現在）

国東市民病院
 農協共済
 別府リハビリテーションセンター
 井野辺病院
 大分リハビリテーション病院
 臼杵市医師会立コスモス病院
 長門記念病院
 社会医療法人帰巖会みえ病院
 大久保病院
 大分県済生会日田病院
 川島整形外科病院
 佐藤第一病院

県リハセンター拡大運営会議(略称:拡大運営会議)
 参加団体名簿

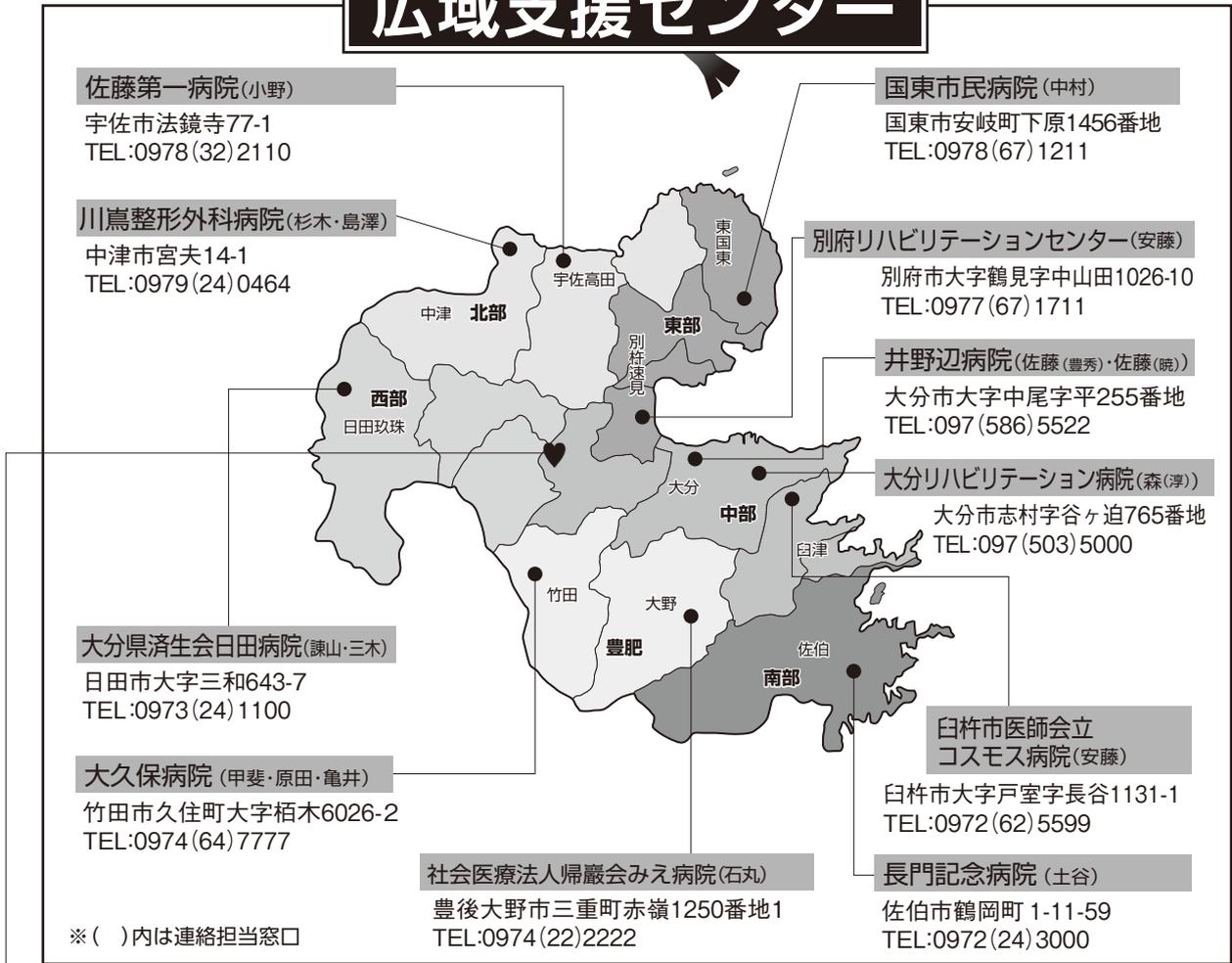
平成29年4月1日現在、下記21団体

大分県医療ソーシャルワーカー協会
 大分県栄養士会
 NPO大分音楽療法研究会(H28年度迄で地域リハ研究会を退会)
 大分県介護支援専門員連絡協会
 大分県介護福祉士会
 大分県看護協会
 大分県言語聴覚士会
 大分県作業療法協会
 大分県歯科医師会
 大分県歯科衛生士会
 大分県視能訓練士会
 大分県地域包括・総合相談・
 在宅介護支援センター協議会
 大分県地域リハビリテーション医師懇話会
 大分県地域リハビリテーション研究会
 大分県病院協会
 大分県放射線技師会
 大分県薬剤師会
 大分県理学療法士協会
 大分県臨床検査技師会
 大分県臨床工学技士会
 大分県臨床心理士会

五十音順



広域支援センター



H 29 年度～

JCHO 湯布院病院 <http://yufuin.jcho.go.jp>

大分県リハビリテーション支援センター運営部 (會川・神田・日高・佐藤(友))

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

H29.4月現在

TEL : 0977(84)3171 (代表) FAX : 0977(84)5880

大分県リハビリテーション支援センター活動報告 および地域リハビリテーション関連活動報告

<記載項目>

1. 平成 28 年度大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ
2. 平成 28 年度実施事業の詳細
3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告
4. おおいた食のリハビリテーション研究活動報告

1. 平成 28 年度 大分県リハビリテーション支援センター活動のまとめ

1. 由布市 リハ職派遣 事業所実地支援事業
 - 1) ごとう医院通所リハビリテーション 講師派遣 8 回 (OT 大田^繁)
 - 2) すぎた福祉サービスセンター 講師派遣 8 回 (PT 佐藤^周)
2. 由布市保健部圏域介護予防検討会
平成 29 年 3 月 15 日 (水) OT 佐藤^友
3. 由布市地域包括ケア推進協議会 出席者 5 名
4. 由布市地域包括ケア推進協議会研修会
「在宅歯科ができること」
平成 28 年 11 月 22 日 (火) (DH 三ノ宮)
5. すこやか健康サロン
4 地区 計 13 回実施 講師派遣のべ 18 名
6. 由布市 健康応援団派遣事業
 - 1) 予防 計 10 箇所にて実施 講師派遣のべ 10 名
 - 2) 症予防 計 13 ヶ所にて実施 講師派遣のべ 13 名
7. 由布市社会福祉協議会 湯布院事務所
 - 1) 実地支援 計 5 回実施 講師派遣：OT 足達、OT 佐々木、PT 本村
 - 2) 研修会「生活機能アセスメントについて」
平成 28 年 9 月 20 日 (火) 講師：OT 佐藤^友
8. 豊肥圏域地域リハビリテーション広域支援センター研修会
 - 1) 「大分県における災害リハビリテーション支援体制構築に向けて」
OT 佐藤^友
「熊本地震における南阿蘇村での大分 JRAT 活動報告」
OT 郷司
平成 28 年 12 月 20 日 (火)
 - 2) 「実践しよう！生活行為向上リハビリテーション」 OT 佐藤^友
平成 29 年 2 月 24 日 (金)
9. 由布市サービス事業所研修会
 - 1) 専門職派遣事業実践報告
派遣先：デイサービスセンター長宝 PT 河野
庄内社協ほのぼの OT 梅木
日時：平成 28 年 7 月 27 日 (水)
 - 2) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」
講師：OT 佐藤^友 村田
 - 3) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」
講師：PT 佐藤^周 日高
 - 4) 「生活機能評価：ADL・IADL のアセスメントと生活機能向上支援プログラム」
講師：DH 三宮

2. 平成 28 年度実施事業の詳細

(1) 第 26 回三者会議

日 時：平成 28 年 4 月 27 日（水）

場 所：大分市井野辺病院 4 階 第 1 会議室

（平成 28 年熊本地震での湯布院病院被災により上記会場にて緊急開催）

出席者：県健康づくり支援課より藤内修二課長、藤本紀代美参事、島川雄司主幹
広域支援センター代表者

主な議題：県リハセンター並びに広域支援センターの H27 年度活動報告（書面）

県リハセンター並びに広域支援センターの H28 年度活動計画（書面）

熊本地震における災害時リハビリ支援体制の構築について

(2) 第 14 回拡大運営会議

日 時：平成 28 年 5 月 17 日（火）

場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 3F 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤本紀代美参事、島川雄司主幹

県高齢者福祉課より笹原良宣参事、阿部幸平主事

関係団体代表者

主な議題：H27 年度県リハセンター並びに広域支援センターの事業報告

H28 年度県リハセンター並びに広域支援センター事業計画

県の進める健康増進計画と地域包括ケア推進について

地域リハ活動の普及に向けた各職能団体の取り組み等の報告及び提出議題の検討

大分県における災害リハビリ支援体制について（報告）

(3) 第 13 回合同研修会（大分県地域リハビリテーション研究会共催）

日 時：平成 28 年 7 月 10 日（日）

場 所：ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

内 容：

1. 「H27 年度地域リハビリテーション活動報告と H28 年度の事業計画」

報告者：県リハセンターより県リハの報告及び各広域支援センターのまとめ
大分県福祉保健部健康づくり支援課・高齢者福祉課の事業説明

2. 講演 1 「大規模災害時における保健医療福祉のコーディネート」

講 師：大分県福祉保健部 参事監兼 健康づくり支援課長 藤内修二氏



3. 講演 2「平時の地域リハ支援体制の構築が災害リハ支援に生きる～茨城県鬼怒川での実践から～」
 講師：茨城県理学療法士会会長・日本理学療法士協会副会長 齊藤秀之氏



4. シンポジウム「大分県における地域リハビリテーションと災害時の対策～多方面から考える～」
 シンポジスト

- ①熊本地震の災害リハ支援経験者から 大分岡病院 理学療法士 大塚未来子氏
 ②災害リハビリテーションコーディネーターの立場から 大分県作業療法協会 副会長 日隈武治氏
 ③地域包括ケアシステムを基礎とした大分県における災害対策 大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄氏
 アドバイザー：茨城県理学療法士会 会長 齊藤秀之氏



参加者数：約 140 名

(4) 第 27 回三者会議

日 時：平成 28 年 10 月 31 日（月）
 場 所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室
 出席者：県健康づくり支援課より藤内課長、島川主幹
 県高齢者福祉課より笹原参事、阿部主事
 主な議題：今年度事業の進捗状況報告
 県からの報告・協議事項について

(5) 大分県地域リハビリテーション研究会 15周年記念講演会（県リハセンター共催）

日 時：平成 29 年 2 月 26 日（日）

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

参加数：83 名

内 容：

基調講演 「大分県地域リハビリテーション研究会のあゆみ」

大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

司会：大分県地域リハ研究会 会長 武居光雄

特別講演 「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

講師：NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

シンポジウム：「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

（一社）大分県医療ソーシャルワーカー協会

ソーシャルワーカー 松尾 美穂氏

「失語症者と専門職とのコミュニケーションを考える」

コミュニケーション・デイサービス 言の葉

言語聴覚士 中村 太一氏

「視能訓練士としての対応～視野や視力の低下からくる生活の不自由さにどう寄り添うか～」

大分視能訓練士会 久保 三枝氏

「特別養護老人ホームにおける医療機関、医師、家族との関わり」

（一社）大分県介護福祉士会

介護福祉士 大場 善弘氏

「患者の自己実現における意思決定支援～訪問看護師として心がけていること～」

社会医療法人 敬和会 大分豊寿苑訪問看護ステーション

緩和ケア認定看護師 稲生 野麦氏

(6) 平成 28 年度地域リハ実践者研修

日 時：平成 28 年 7 月 10 日（日）、8 月 20 日（土）、9 月 10 日（土）

場 所：（1 日目）別府市ビーコンプラザ 国際会議場

（2 日目）JCHO 湯布院病院 保健学習棟 3 階 研修室

（3 日目）大分市ホルトホール 409 号室

2 日目内容：講義

○地域包括ケアにおける各職種のリハ的関わりを学ぶ

講義 1 「地域包括ケアにおけるリハビリテーションについて～これからの地域リハビリの視点～」

講師：大分県リハビリテーション支援センター 運営部長 大隈 和喜

講義 2 「自立支援のための客観的アセスメント～リハ職派遣事業の実践を通して～」

講師：臼杵市医師会立コスモス病院 理学療法士 竹村 仁氏

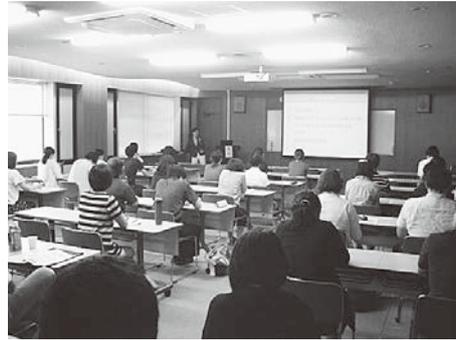
講義 3 「介護福祉士による自立支援への関わり」

講師：JCHO 湯布院病院 介護福祉士 大久保 隆氏

講義4「自立支援に向けた福祉用具の選定の仕方」

講師：JCHO 湯布院病院 作業療法士 佐藤 友美氏

申込み受講者：36名中 参加者：46名（当日追加受講者、関係者含む）



【2日目 研修会の様子】

3日目内容：講義、総合討論

○地域包括ケアの実現に向けての連携のあり方を学ぶ

講義5「地域ケア会議、ファシリテーターとしての役割」

講師：杵築市役所福祉推進課課長 江藤 修氏

講義6「地域ケア会議、助言者としての関わり」

講師：井野辺病院 作業療法士 佐藤 暁氏

総合討論

テーマ：「自立支援に向けた関わり方」

目的：各職種、各施設での自立支援に向けた関わり方の整理を行い、他職種、他施設の自立支援に向けた関わり方を知り、連携が円滑に行えるようになる。

方法：ワールドカフェ方式

ラウンド1：自立支援に向けた関わり方の現状と課題について討論する。

ラウンド2：他施設、他職種の自立支援に向けた関わり方を把握する。

ラウンド3：1、2で議論した内容を踏まえ、今後各人が自立支援に向けた取り組みとして連携できることを検討する。

受講者：20名（2名欠席）

(7) 第8回 実務者会議

日時：平成28年12月12日（月）

場所：JCHO 湯布院病院保健学習棟 研修室

出席者：県健康づくり支援課より藤本紀代美参事、島川雄司主幹

県高齢者福祉課より阿部幸平主事

主な議題：平成29年度県の事業計画

県リハセンターの事業（年間計画案・予算案）

広域支援センターの活動計画案・予算案

3. 大分県における災害リハビリテーション支援体制の構築と実績報告

平成 28 年度の大分県における地域リハビリテーションの大きな変化として、災害リハビリテーション支援体制を整備し、JRAT¹⁾ と連携した形で組織化したことが挙げられる。同年 4 月に起きた熊本地震を契機に加速度的に整備を行い、南阿蘇村での支援に至った。本項では、大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）発足までの経緯と運営、研修会等の実施状況、及び来年度の事業計画について報告する。

【大分災害リハビリテーション推進協議会発足までの経緯】

大分県リハビリテーション支援センター（以下県リハセンター）では、地域リハの重要課題に災害リハを挙げ、平成 27 年 1 月に災害リハビリテーションコーディネーター²⁾（以下災害リハコーディネーター）とともに初回の災害リハに関する検討会議を行った。そして、平成 28 年度に災害に備えた組織を構築することを事業計画に挙げていた。ところが、平成 28 年度を迎えた矢先に熊本地震が起き、熊本県へ支援を行う為の体制作りが急務となった。一方で、同時に大分県においても、別府・湯布院が被災し、県リハセンターを担う湯布院病院自体が被災した。事務局機能が一時停止したため、初動が遅れる結果となった。しかし、湯布院町内の災害リハ支援に県リハセンターが活動したことは申し添えておく。

以上の背景の下、災害時に大分県のリハ専門職が組織的に活動するための機関を設立に向け、下記の日程で検討を重ね、5 月 2 日に大分災害リハビリテーション推進協議会（大分 JRAT）の設立に至った。

注：1) JRAT：大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

2) 災害リハビリテーションコーディネーター：JRAT 主催の災害リハコーディネーター養成研修を修了した者を指す。大分県内に 6 名登録（平成 29 年 3 月現在）。

【大分 JRAT の組織化に向けた検討会議】

1. 第 1 回検討会議

平成 28 年 1 月 27 日（水）

場所：ホルトホール大分

参加者：大分県災害リハコーディネーター 6 名 県リハ 5 名

検討事項：県リハセンターと災害コーディネーターの初顔合わせ、情報共有、今後の計画

2. 第 2 回緊急検討会議（緊急三者会議）

日時：平成 28 年 4 月 27 日（水）14：00～

場所：井野辺病院

参加者：大分県 広域支援センター（11 広域） 県リハ支援センター 災害リハコーディネーター

検討事項：「大分 JRAT」の立ち上げを行うこと、代表は県リハが行うこと等

3. 第 3 回緊急検討会議

平成 28 年 5 月 2 日（月）18：30～

場所：井野辺病院

参加者：大分県 大分県病院協会 大分県地域リハ研究会 大分県回復期リハ病棟連絡協議会

大分県理学療法士協会 大分県作業療法協会 大分県言語聴覚士協会

大分県介護支援専門員協会 広域支援センター（井野辺病院・大分岡病院・別府リハ）
県リハ支援センター

検討事項：「大分 JRAT」の設立の承認

4. PT・OT・ST 協会との災害リハ支援活動時の人材派遣等についての検討会（1回）

平成 28 年 5 月 18 日（水）19：00～

場所：大分県作業療法協会ビル

参加者：大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会 県リハ支援センター

検討事項：支援活動メンバーの登録方法等

【大分 JRAT：南阿蘇村での支援活動】

5月6日 JRAT 本部より大分 JRAT に対し、5月8日～15日（計8日間）南阿蘇村への派遣要請が入る。

5月8日 第1陣 岡病院・県リハセンター合同チームを派遣

構成メンバー：井上 Dr ○田中（PT）大田（OT）首藤（PT）

5月11日 第2陣 岡病院・井野辺病院・県リハセンター合同チームを派遣

構成メンバー：井野辺 Dr. ○岸本（OT）池田（PT）帆足（PT）

○大塚（PT）郷司（OT）城（OT）

※○はチームリーダー 敬称略

活動内容：避難所に滞在する被災者への生活不活発病及びエコノミークラス症候群予防の
普及啓発、運動機会の提供を通じた災害関連死の予防

5月15日 大分 JRAT 撤収

南阿蘇村における JRAT の支援は終了



第1陣メンバー
支援活動を終え、湯布院到着時に撮影



第2陣メンバー
南阿蘇西小学校避難所にて

【大分 JRAT 災害リハビリテーション研修会】

1. 大分 JRAT 設立式並びに災害リハ支援派遣者研修会

実施日：平成 28 年 6 月 4 日（土）13：30～16：30（受付 13 時～）

設立記念講演：「災害におけるリハビリテーションの重要性と JRAT の紹介」

講師：日本リハビリテーション病院・施設協会 会長

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会

JRAT（Japan Rehabilitation Assistance Team）代表

リハビリ関連団体協議会 代表 栗原 正紀氏

／長崎リハビリテーション病院 院長

会 場：大分市男女共同参画プラザ アイネス 大会議室

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する団体、個人の専門職

受講者：136名



【栗原正紀 JRAT 代表の特別講演】

2. 大分 JRAT 第2回災害リハ支援研修会

実施日：平成29年3月4日（土） 9：30～12：30（受付9時～）

講演1 「大分にも津波がきた！～南海トラフ地震と別府湾地震～」

講 師：日出町歴史資料館・帆足萬里記念館 平井 義人氏

講演2 「災害急性期から避難所、仮設住宅に至る支援対策

～重要なこと・気をつけること～」

講 師：神戸赤十字病院 心療内科 医師 村上 典子氏

会 場：別府ビーコンプラザ 中会議室

対象者：災害時のリハビリテーション支援に関する関係職種

受講者：60名



【日出町歴史資料館 平井 義人氏】



【神戸赤十字病院 村上 典子氏】

*第1回、第2回共に世話人会を同時開催

【大分 JRAT 事務局活動】

1. 災害リハコーディネーターとの事務局会議（3回）

日時：平成28年9月13日（火） 場所：ホルトホール大分

平成28年12月20日（火） 場所：湯布院病院

平成 29 年 2 月 28 日（火） 場所：湯布院病院

内容：大分 JRAT 組織運営、ならびに災害リハ研修の検討等

2. 大分県との災害時における被災者の医療救護に関する協定締結への準備

1) 大分県との協定内容検討会

日時：平成 29 年 2 月 28 日（火） 場所：大分県庁健康づくり支援課

2) 上記協定の締結に向けた資料作成等

【平成 29 年度事業計画】

大分県と大分 JRAT の協定を締結し、県行政と一体となった支援活動が行える組織作りを進めていく。また有事に備え、JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携を深めていく。

1. 災害リハビリテーションの教育・普及・啓発

・災害リハビリテーションに関する研修の実施（年 2 回）

1) ベーシック研修

2) ロジスティック研修

2. 災害対応のための組織化

・大分県との災害時における被災者の医療救護に関する協定締結

・災害リハ支援チームメンバー登録の推進

・大分県における防災訓練への参加協力等

・JRAT 本部、九州各県の JRAT との連携

・県内関係団体との連絡調整

3. 直接支援活動

4. おおいた食のリハビリテーション研究会 活動報告

本研究会は平成18年12月3日に発足し、平成28年6月現在での会員数は286名である。主な活動は年に2回の研修会と大分県社会福祉介護研修センターとの共催で実施している摂食・嚥下セミナーがある。また、おおいた食リハニュースを年数回発行している。

<本年度研究会活動報告>

おおいた食のリハビリテーション研究会 総会・第19回研修会

日 時：平成28年7月17日（日）

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

9：00～受付

9：30～総会

10：00～研究報告・事例検討会

①「食べたいを叶えたい～誤嚥性肺炎を繰り返す長期臥床状態の方へのアプローチ」

明和記念病院 言語聴覚士 吉田玲子氏

②③「豊後高田市社会福祉協議会における介護予防事業の取り組みを通して」

豊後高田市社会福祉協議会 歯科衛生士 甲斐千智氏・管理栄養士 内田紫乃氏

④「上咽頭がんの放射線治療を既往に持ち、舌がん再発後に経口摂取を断念させられた1例

～経過と経口摂取に向けた取り組み～」 JCHO湯布院病院 言語聴覚士 木村暢夫氏

⑤「口から食べる～PEGから経口摂取へ」

介護保険総合福祉センターメルヘン 管理栄養士 濱田美紀氏

⑥「医療と介護の連携～喀痰吸引と鼻腔栄養を通して」

介護福祉士会 大場喜弘氏

12：00～終了

第10回摂食・嚥下セミナー（共催 大分県社会福祉介護研修センター）

目 的：人間の活力の源である「食事」は、おいしく口から食べるという楽しさだけではなく、脳を刺激し生きる喜びにも繋がります。しかし、病院や施設、在宅では「食」に関する何らかの問題を抱えている方は数多く、多職種協働のケアにおいては大きな課題となっています。そこで、摂食・嚥下機能の専門家による知識と技術を学んでいただき、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成するために開催しています。

日 時：1日目 6月23日（木） 開講式、嚥下障害への対応と支援、摂食嚥下障害患者の支援

2日目 7月1日（金） 摂食嚥下障害概説、摂食嚥下障害の評価

3日目 7月24日（日） 摂食嚥下リハ（間接・直接訓練）、口腔について

4日目 8月7日（日） 栄養管理について、経口摂取確立のための姿勢・摂食へのアシスト、お口のリハレク

5日目 8月9日（火）・8月10日（水） 調理実習、食べる喜びを支援する食事の介助

6日目 9月9日（金） 認知症・高次脳機能障害者への食事支援、摂食・嚥下リハビリテーションⅡ

7日目 9月16日（金） 事例検討・事例報告・終了式

※5日目の実習は2班編成に分かれています。

対象者：介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、
歯科衛生士、調理員等

会 場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

共 催：大分県社会福祉介護研修センター、おおいた食のリハビリテーション研究会

おおいた食のリハビリテーション研究会 第20回 研修会・10周年記念祝賀会

日 時：平成29年3月19日（日）

場 所：レンブラントホテル

9：00～受付

9：40～講演①「認知症の方への食事支援～考え方と手法～」

日本大学歯学部歯学科摂食機能療法学講座 教授 植田耕一郎先生

11：00～講演②「超高齢社会における歯科医療の役割～安心して食べられる口づくりのために～」

こうすけデンタルクリニック 理事長 山口康介先生

12：30～設立10周年記念祝賀会



写真①：第10回摂食嚥下セミナーの様子



写真②：10周年記念祝賀会の様子

広報誌「おおいた食リハニュース」発行

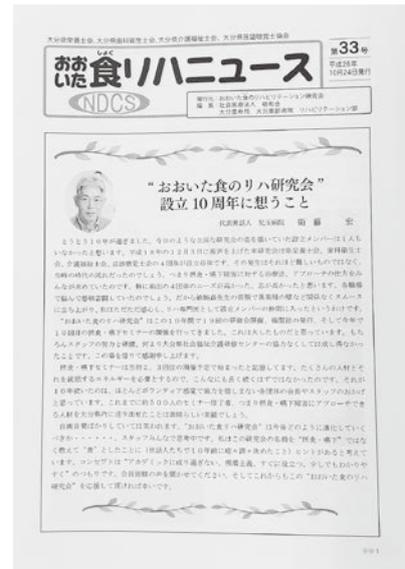
○第 32 号 平成 28 年 6 月 15 日発行

特集：第 18 回研修会

コラム：若林秀隆先生の講演

様々な視点で食事や口腔ケアを考える

大分東部病院 歯科衛生士 眞倉久仁子氏



○巻 33 号 平成 28 年 10 月 24 日発行

特集：① “おおいた食のりハ研究会” 設立 10 周年に想うこと

代表世話人 児玉病院 衛藤宏氏

②第 19 回研修会・総会

③熊本・大分県地震被災地支援活動の報告



大分県地域リハビリテーション 広域支援センター活動報告

<記載項目>

- ①圏域の特徴・平成28年度目標
- ②研修テーマ
- ③広域主催の主な研修内容
- ④地域での連携状況
- ⑤圏域での災害支援の協力体制について
- ⑥今後の課題

東部圏域 東国東地域



センター長
稲井 眞 二



担当窓口
中 村 晋 也



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

広域型地域包括ケアの構築を目指す。

【研修テーマ】

【広域主催の主な研修内容】

平成 28 年 4 月 24 日：「基調講演」超高齢者社会の口を支えるための歯科の役割
～地域包括ケアシステムの視点から～

講演者：東京都健康長寿医療センター研究所専門副部長 平野浩彦 先生

「シンポジウム」食べて、しゃべって、笑える老後のために

※共催の開催・その他の研修会としては

市民公開講座、医師会講演会、仏の里ネットワーク講演会、等多数（12 回）開催

【地域での連携状況】

摂食嚥下・口腔ケア・介護・障害関連・歯科医療などの相談に対応

医療実習・体験学習等に対応

オンデマンド方式の出前講座を随時開催

ホットネット会議・月 1 回、事前会議月 1 回

※入院時～退院後支援のフロー、カンファレンスシート（中間・退院前・退院後）を作成

在宅医療連携会議および作業部会議への参加

地域ケア会議等・審査会等への協力

その他として糖尿病・地区の健康相談などなど連携して取り組んでいる

【圏域での災害支援の協力体制について】

災害訓練を年 1 回、消防と協力して実施

空港災害訓練に協力

【今後の課題】

摂食嚥下機能支援の普及・啓発

入院時～退院後支援のフロー、カンファレンスシート（中間・退院前・退院後）を国東市の中に浸透させていく。

東部圏域 別杵速見地域



センター長
長 岡 博 志



担当窓口
安 藤 靖 浩



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

高次脳機能障がい支援拠点機関である。

生産年齢者に対して、回復期リハ後、途切れのないリハビリ提供機関として、障害者支援施設がある。

【研修テーマ】

高次脳機能障がいの基礎を学ぶとともに、事例を通して高次脳機能障がいのリハビリ方法を学ぶ

【広域主催の主な研修内容】

実施日：平成 28 年 8 月 5 日

講習内容：高次脳機能障害支援者基礎研修会

講師：諏訪の杜病院 作業療法士 浅倉 恵子 先生

『高次脳機能障がいの概要』

別府リハビリテーションセンター 言語聴覚士 甲斐 祥吾 先生

『高次脳機能障がいのリハビリテーション』

対象：大分県内に勤務する医療・福祉・介護・学校関係者等

受講者数：102 名

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携

地域ケア会議（20 回）

別府市地域ケア会議運営検討会（1 回）

別府市自立支援型サービス支援事業（8 回）

地域ケア連携システム会議（1 回）

講師派遣

地域リハ関係（24 回）

共催研修会

大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会（2 回）

施設利用

P T 協会（20 回）

O T協会（1回）
赤十字大分県支部（1回）
大分活動分析研修会（1回）
J Aバンク主催研修会（1回）
日本コンチネス協会事例検討会（1回）
N P O法人キッズスポッチャ（1回）
J A大分信連研修会（1回）

【圏域での災害支援の協力体制について】

年1回、消防署と連携し、災害訓練を実施
支援体制を整備している

【今後の課題】

地域包括支援センター、居宅支援事業所との連携

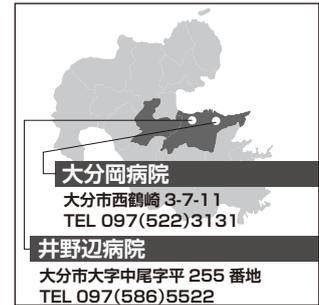
中部圏域 大分地域

大分岡病院

センター長 森 照明
人事部長 坂本 修一
担当窓口 大塚未来子
担当窓口 森田 年哉
担当窓口 毎床 秀朗
担当窓口 野上可奈子
担当窓口 山本麻由美
担当窓口 四井 佳奈
担当窓口 黒枝 貴洋
担当窓口 松上 裕

井野辺病院

センター長 井野邊純一
担当窓口 佐藤 豊秀
担当窓口 佐藤 暁
担当窓口 岸本 周作
担当窓口 森田 有紀
担当窓口 後藤 直哉



【圏域の特徴・28年度の目標】

- ・研修会の企画運営
- ・講師の派遣

【研修テーマ】

医療および地域リハビリテーションの従事者が、従来、回復の見込みがなかった半身麻痺や脳卒中の後遺症に対する最新の再生医療についての見識を深めることを目的とする。近い将来、この技術が現場に導入された際、新たな地域リハビリテーション体制を構築する発達の一助となることを留意する

【広域主催の主な研修内容】

講演会 「脳梗塞と脊髄損傷の再生医療」

講師 本望 修氏

(札幌医科大学 医学部附属フロンティア学研究所神経再生医療学部門教授)

受講者数 142名

【地域での連携状況】

①平成28年度通所型介護予防事業「大分市元気はつらつ教室」

依頼元：大分市長寿福祉課

内容：事前カンファレンスの助言指導（9事業所）：佐藤・大塚

中間時事業所訪問及び助言指導（9事業所）：佐藤・大塚

②平成28年度大分市難病患者地域支援ネットワーク推進会議参加（佐藤・大塚）

依頼元：大分市保健所

③介護予防教室開催 4件

依頼元：地区の老人会（深河内・寒田わかば台・田尻グリーンハイツ）

【圏域での災害支援の協力体制について】

熊本災害支援 大分 JRAT 派遣

第1陣 5月9日～12日 井上 Dr・佐藤 OT・田中 PT

第2陣 5月12日～15日 井野辺 Dr. 岸本 OT. 大塚 PT. 池田 PT. 帆足 PT

中部圏域 白津地域



センター長
下田 勝 広



担当窓口
安藤 真 次



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

当広域支援センターは白杵市と津久見市の2市を担当している。両市とも中核病院が医師会立病院であるため、かかりつけ医との関係も良好である。特に白杵市にむけては、広域支援センターとして認定以前より地域リハビリテーションの啓発活動を行っている

【研修テーマ】

① これからの総合事業とりハ職の関わりについて ～PT・OT・STの心構え～

講師：デイサービス楽 株式会社ライフリー代表取締役 佐藤 孝臣氏

日時：平成 28 年 8 月 16 日

場所：白杵市医師会立コスモス病院 大会議室

参加者：45 人

② 「認知症の人を地域で支えるために」

講師：白杵市医師会立 コスモス病院

作業療法士 野田 絵里加

日時：平成 28 年 9 月 8 日

場所：白杵市医師会立コスモス病院 大会議室

参加者：28 人

③ 「嚥下障害を疑うポイント」

講師：白杵市医師会立 コスモス病院

言語聴覚士 大友 麻衣

日時：平成 28 年 12 月 14 日

場所：白杵市医師会立コスモス病院 大会議室

参加者：28 人

④ 「働く人のための腰痛予防」

講師：白杵市医師会立 コスモス病院

理学療法士 阿部 翔伍

日時：平成 29 年 3 月 16 日

場所：白杵市医師会立コスモス病院 大会議室

参加者：20 名

⑤ 「エアリハ」で介護予防

講師：繁岡秀俊（理学療法士）

日時：平成 29 年 3 月 12 日

場所：白杵中央公民館 大ホール



参加者：専門職 74 名、市民 102 名

【広域主催の主な研修内容】

地域におけるリハビリテーション実施機関等の従事者に対する研修

講師派遣実績＜平成 28 年度＞

- 1) 竹村仁：「フレイルとサルコペニア知ってますか？」コミュニティケア会議、参加者 70 名。5 月 17 日
- 2) 三重野陽一：「職業人に学ぶ」臼杵高校、参加者 42 名 6 月
- 3) 竹村仁：「認知症を地域でどう支えるか、その予防法は？」認知症の人と家族の会・家族支援プログラム、参加者 36 名。7 月 20 日
- 4) 竹村仁：「生活習慣×リハビリテーション×生きがい」上北亀城大学、参加者 21 名。7 月 25 日
- 5) 竹村仁：「やればできる“簡単”健康法」江友会、参加者 35 名。8 月 16 日
- 6) 竹村仁：「疾病管理の視点」地域包括支援センター研修会、参加者 17 名。9 月 9 日
- 7) 安藤真次、竹村仁：「効果的なプレゼンの仕方と事例検討の意義」自立支援事業所発表会に向けた事前学習、参加者 12 名。9 月 27 日
- 8) 竹村仁：「トレーニングの基礎知識と体力測定」臼杵市介護予防サポーター養成講座、参加者 16 名。10 月 26 日
- 9) 竹村仁：「疾病管理の視点と効果的な筋力トレの仕方」臼杵市介護予防サポーター養成講座、参加者 16 名。11 月 9 日
- 10) 竹村仁：「効果的なプレゼンの仕方と事例検討の意義」自立支援事業所発表会に向けたプレプレゼン、参加者 6 名。11 月 15 日
- 11) 竹村仁：「認知症と有酸素運動」臼杵市介護予防サポーター養成講座、参加者 16 名。11 月 30 日
- 12) 竹村仁：「魅力的・効果的・効率的な教室とは？行動変容プログラムの理解」臼杵市介護予防サポーター養成講座、参加者 16 名。12 月 14 日
- 13) 竹村仁、豆田悠紀見：「やればできる“簡単”健康法」西海添地区公民館、参加者 24 名。12 月 15 日
- 14) 竹村仁：「自立支援実践報告会」助言者。津久見市民会館。参加者 84 名。12 月 19 日
- 15) 竹村仁：「やればできる“簡単”健康法」海部亀城大学、2 月 8 日
- 16) 薬師寺香奈：「腰痛予防」戸ノ上地区 6 月 16 日
- 17) 野田絵里加：「認知症予防健康体操」新田・乙見敬老会 9 月 18 日
- 18) 薬師寺香奈、豆田悠紀見：「運動の選択方法・ADL 評価の方法等」ヘルパーステーション 11 月 11 日
- 19) 安藤真次：「腰痛予防対策」緑の園 12 月 2 日
- 20) 安藤真次：「腰痛予防について」太平洋セメント 平成 29 年 1 月 13 日

【地域での連携状況】

臼杵市では、ICT を利用した情報共有ツール「うすき石仏ねっと」が整備され、医科歯科連携も始まり在宅と医療の連携はますます進んでいる。地域のサロンづくりで市と協働しし介護予防を図るとともに、成人の生活習慣病予防や腰痛予防にも地域リハの力を利用している。

【圏域での災害支援の協力体制について】

臼杵市が被災した場合を想定し、10 年程まえから被災時の訓練を繰り返しているが、他地域の災害時に DMAT 以外を派遣するしくみは未整備な状態。

【今後の課題】

なし

南部圏域 佐伯地域



センター長
後藤 陽一郎



担当窓口
土谷 健治



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

自立支援に向けた支援体制を地域全体で取り組む

【研修テーマ】

多職種連携の強化と各事業所のスキルアップ

【広域主催の主な研修内容】

平成 28 年 11 月 15 日：自立支援ケアプラン研修会

平成 28 年 11 月 28 日：認知症予防プログラム実践力向上研修会

平成 29 年 3 月 14 日：平成 28 年度佐伯市介護予防・日常生活支援総合事業事例報告会

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連絡

- ・研修会講師の依頼及び派遣調整
- ・地域リハ活動支援事業への協力
- ・高齢者にやさしい地域づくり協議会参加
- ・圏域介護予防検討会参加

○講師派遣（回数）

19 回

【圏域での災害支援の協力体制について】

○災害リハ支援体制について圏域の協力施設との関係図・研修会など現時点では特になし

【今後の課題】

- ・自立支援に向けたヘルパーの育成
- ・認知症予防の為の啓蒙活動及び支援体制の整備

豊肥圏域 大野地域



センター長
松尾 則 義



担当窓口
石丸 知 二



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

自立支援に向けた支援体制を地域全体で取り組む

【研修テーマ】

地域における通所スタッフのスキルアップ（前年度に引き続き）

【広域主催の主な研修内容】

実施予定日：平成 28 年 12 月中旬

講演内容：「トランスファー研修会」

講師予定：是永 浩二氏（理学療法士）

補助講師 5 名

対 象：リハビリ従事者

事者、圏域内医療・介護・福祉施設従事者

※諸事情により中止した

【地域での連携状況】

相 談：1 件

講師派遣：豊後大野市地域ケア会議アドバイザー

地域リハ活動支援事業への協力

施設利用：2 施設

大分県理学療法士協会

豊後大野市支援ネットワーク研修会

【圏域での災害支援の協力体制について】

特になし

【今後の課題】

継続的支援体制の整備

豊肥圏域 竹田地域



センター長
大久保 健 作



担当窓口
甲 斐 恭 子



担当窓口
原 田 琢 也



担当窓口
亀 井 英 孝

【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

高齢化率トップの地域であるがリハ資源が少なく、介護認定率も比較的高い地域である。

在宅を支援する事業所のスキルアップとリスク管理意識を高め、医療介護連携を推進する取り組みを行う。

【研修テーマ】

在宅支援

【広域主催の主な研修内容】

①平成 28 年 12 月 9 日

「大規模災害時にリハ職がどう関われるか～熊本地震における大分 DMAT・大分 JRAT 参加報告」



講師：小代 武氏（竹田医師会病院作業療法士／大分 DMAT）

佐藤友美氏（JCHO 湯布院病院／大分 JRAT）

郷司実花氏（JCHO 湯布院病院／大分 JRAT）

参加数：30 名

②平成 29 年 2 月 24 日

「実践しよう！生活行為向上リハビリテーション」

講師：佐藤友美氏（JCHO 湯布院病院）

参加数：26 名

【地域での連携状況】

- ・ 豊肥保健所、竹田市高齢者福祉課、地域包括支援センター担当職員と研修企画会議をもち、研修会の内容がかさならないようにし、共催できる研修などを確認している。
- ・ 竹田市より「竹田市地域リハビリテーション活動支援事業」を受託し、介護保険事業所や住民主体の通いの場などに、助言指導を行っている。

【圏域での災害支援の協力体制について】

竹田医師会病院に DMAT 設置されており、災害時は当院または当センターに社会福祉協議会から支援依頼の経験あり。

【今後の課題】

訪問介護事業所への支援

西部圏域 日田玖珠地域



センター長
林 田 良 三



担当窓口
諫 山 昌 寿



担当窓口
三 木 征 博



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

行政・他職能団体との顔の見える関係を維持し、在宅医療・介護の連携推進を図る。

【研修テーマ】

平成 29 年 3 月 18 日（土）

『障害を持ってでも＜自分らしく生活したい＞を本人と協働でつくるリハビリテーション』
～脳血管障害者への心理社会的援助メソッドの活用法～』

【広域主催の主な研修内容】

講 師：目白大学 保健医療学部 作業療法学科 准教授 NPO 法人 学びあい
理事 小林孝治 氏
(株) ケアプラネッツ代表取締役 NPO 法人 学びあい
副理事長 葉山靖明 氏

参加者：40 名

内 容：障がい者に対する心理的援助アプローチの方法について

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携 ・会議（回数）・共催の研修会・相談、施設利用

(1) 会議出席

①日田市在宅医療連携会議（2 名：月 1 回：日田市医師会主催）

②西部圏域介護予防検討会（2 名：11 月：西部保健所主催）

(2) 相談・施設利用

①自宅での入浴ができない方への動作指導にセラピスト派遣 2 名（平成 28 年 7 月 27 日）

②在宅人工呼吸器患者の障害年金にかかる計測実施のためのセラピスト派遣 2 名（平成 28 年 11 月 17 日）

③ふれあい健康相談（済生会日田病院内にて 2 回）

④ AO 入試（8 月）

○講師派遣（回数）

(1) 日田市の地域リハビリテーション活動支援事業の一貫で、日田市と共同して企画し、自立支援

型通所サービス研修会を実施。下記のように派遣。

11月29日：6名（PT3名・OT2名・ST1名） 12月6日：1名（PT1名）

(2) 地域ケア会議への出席（日田市）

平成28年5月・7月・9月：通常地域ケア会議（昼間開催：PT1名ずつ）

平成28年11月・12月：医師が参加する地域ケア会議（夜間開催：PT1名ずつ）

【圏域での災害支援の協力体制について】

【今後の課題】

- ・ 地域包括ケアシステムの推進に向けて、住民ボランティアの育成を圏域内でどのように行っていくか？
- ・ 災害支援の協力体制についてどのように行っていくか？

北部圏域 中津地域



センター長
川島 真人



担当窓口
島澤 真一



担当窓口
杉木 知武



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

- 定期的な転倒予防教室・健康教室の開催
- 地域ケアシステムへの協力・参加

【研修テーマ・内容】

- 健康教室（計 8 回 講師：当院 Dr・PT）
- 6月25日（土）『手の痛みとしびれについて』
- 7月23日（土）『健康長寿と食事療法』
- 8月20日（土）『変形性膝関節症について』
- 9月17日（土）『高齢者の骨折について』
- 10月1日（土）『骨と関節の日 運動の効用とロコモ』
- 11月19日（土）『股関節の痛みについて』
- 平成 29 年 1 月 14 日（土）『膝の痛みと治療について』
- 2月18日（土）『最近の脳梗塞の治療』

【地域での連携状況】

- 転倒予防教室（大幡地区・沖代地区 計 25 回）
- 中津市役所地域ケア会議助言者（各月 PT, OT 派遣 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 計 23 名）
- 中津市運動で健康づくり推進員養成講座 元気ハツラツ教室講師（PT 派遣 平成 28 年 9 月 28 日）
- 中津市医師会大腿骨近位部骨折地域連携パス作業部会（PT、OT 参加 平成 28 年 4 月 23 日 8 月 20 日 12 月 10 日）
- 中津市在宅医療・介護連携推進会議（PT 参加 平成 28 月 12 日 13 日 平成 29 月 3 日 30 日）
- 北部保健所在宅ケアネットワーク研修会（PT 参加 平成 28 月 11 日 16 日）

【圏域での災害支援の協力体制について】

- 機関施設（市・市民病院）と連携して協力・行動予定
- 熊本災害支援 JRAT 登録・派遣日程調整（PT2 名 OT1 名）
- JRAT 研修会参加（PT1 名参加 平成 28 月 6 日 4 日）

【今後の課題】

- 専門職派遣増加に伴う体制の整備

北部圏域 宇佐高田地域



センター長
中原成浩



担当窓口
小野秀幸



【圏域の特徴・平成 28 年度目標】

市町村事業と連携し、リハビリテーションの視点で北部圏域在宅医療介護連携推進を図る

【研修テーマ】

研修会（体幹機能の評価とアプローチについて）

【広域主催の主な研修内容】

実施日：平成 28 年 8 月 7 日（日）

場 所：佐藤第一病院 会議室

講習内容：体幹機能の評価とアプローチ

講 師：福岡師志恩病院 多々良大輔 氏

対 象：医療機関・介護サービス事業所スタッフ 等

受講者数：21 人

実施日：平成 29 年 3 月 18 日（土）

場 所：佐藤第一病院 会議室

講習内容：誤嚥性肺炎予防のための食事介助とポジショニング

講 師：佐藤第一病院口腔リハビリテーションチーム

対 象：医療機関・介護サービス事業所スタッフ 等

受講者数：25 人

【地域での連携状況】

○地域リハビリテーション活動・地域との具体的連携・会議（回数）・共催の研修会・相談、施設利用

○講師派遣（回数）

1) 地域ケア会議助言者派遣調整

宇佐市、豊後高田市

2) 地域ケア推進会議（宇佐市）参加：2 回

3) 地域ケア会議助言者派遣（宇佐市）参加：8 回（豊後高田市）参加：8 回

4) リハ職派遣事業所実地支援事業指導者派遣 1 名、指導者派遣調整（2 事業所）

5) 一般市民介護予防教室 講師参加：10 回

宇佐市、安心院町、院内町

6) 宇佐市サロン教室 講師派遣：12回

7) 北部圏域在宅医療・介護連携推進会議参加：2回

【圏域での災害支援の協力体制について】

○災害リハ支援体制について圏域の協力施設との関係図・研修会等調整中

【今後の課題】

リハビリテーションの視点で在宅医療介護連携推進が図れるように市町村事業と更に連携を深めていきます。

大分県下専門職能団体 (拡大運営会議構成団体) 活動報告

<記載項目>

①会の現状

②地域リハ関連の活動・取り組み

③地域リハ活動における課題・今後の展開

一般社団法人 大分県医療ソーシャルワーカー協会



会長
井元 哲也

<協会の状況>

正会員数 264 名（平成 29 年 3 月 31 日時点） 賛助会員 7 団体

1. 協会研修

【初任者研修会】

第 1 回 参加者：21 名

『大分県医療ソーシャルワーカー協会とは』『病院に MSW がいる意味』

第 2 回 参加者：26 名

『面接技法～導入編～』

第 3 回 参加者：32 名

『ソーシャルワーカーに関わりが深い診療報酬～MSWの援助過程～』『ソーシャルカフェネクスト～大分県の各医療機関の役割について』

第 4 回 参加者：15 名

『ソーシャルワーカーの価値と倫理』

第 5 回 参加者：8 名

『事例検討会とは？～その考え方と記録の仕方』『事例検討会』

【面接技法ワークショップ】

第 1 回 参加者：31 名

『面接上達編～ソーシャルワーカーとしての必須技術“面接技法”』

第 2 回 参加者：32 名

『事例を通しての面接のふりかえり』

第 3 回 参加者：22 名

『面接うまくなろう！面接～アセスメントはできたかな？～』

【初任者フォローアップ研修】

参加者：10 名

『実践研究』

【スーパーバイザー（実習指導者）フォローアップ研修】

参加者：14 名

『若年層世代に対しての人材育成とメンタルヘルスについて』

【公開セミナー】

参加者：97名（うち大分県介護支援専門員協会参加者43名）

『地域包括ケアシステムに求められる医療介護連携とは』『地域ケア事例検討会及びグループワーク』

【その他の活動】

- 大分県医療ソーシャルワーカー配置状況調査
- リレーフォーライフ2016への参加・運営
- センターまつり&げんきフェア2016への参加
- 熊本・大分地震にて、当協会から3名のMSWを益城総合体育館等に派遣
- 被災時の医療ソーシャルワーカーの行動指針（ガイドライン）の作成
- 平成29年2月19日（日）に災害研修を実施した。参加人数 25人

2. 地域リハ関連活動の取り組み

- ・地域リハビリテーション・ケア研究会
- ・大分市在宅医療・介護連携会議
- ・中津市在宅医療・介護連携推進会議
- ・宇佐市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・佐伯市高齢者にやさしい地域づくり協議会
- ・医師が参加する地域ケア会議

3. 地域リハにおける課題・今後の展望

医療と介護の連携強化に関する事業が進められる中、医療と地域生活の接点に介入し、支援を行う専門職である医療ソーシャルワーカーへの期待は今後更に大きくなっていくものと考えている。

これらの要請にこたえるべく、今後も研修を中心とした協会事業を通じ、医療介護連携体制構築において中核を担える人材育成を行っていききたい。

また、4月に発生した「熊本・大分地震」での支援活動においては、発災直後の対策本部立ち上げや被災地への派遣人員の確保等において課題が明らかとなった。今後は自県が被災した場合の行動計画の検討や、災害時における関係機関及び関連団体との連携についての協議を進め、更なる災害支援体制の強化に取り組んでいきたい。

公益社団法人 大分県栄養士会



会長

安部 澄子

I. 会の現状

栄養士会は管理栄養士・栄養士の資格を有し7つの職域分野にわかれ専門職として活躍している。栄養の日（8月4日）・栄養週間（8月1日～8月7日）と定め「栄養の大切さ」を理解していただくために実践活動し地域社会に貢献している。

会員数 775名（平成29年3月31日現在）

職域分野 (7)	支 部 (7)
(1) 学校健康教育 45名	大 分 (大分市・由布市)
(2) 公衆衛生 57名	別 府 (別府市)
(3) 教育・研究 36名	東 部 (日出・国東・杵築)
(4) 勤労者支援 10名	北 部 (宇佐・中津・豊後高田)
(5) 地域活動 141名	豊 肥 (竹田・豊後大野)
(6) 医 療 314名	南 部 (佐伯・臼杵・津久見)
(7) 福 祉 172名	西 部 (日田・玖珠)

II. 地域リハ関連の活動・取組

関係会議・研修会運営等への出席

①大分地域リハビリテーション研究会運営部会

大分地域リハビリテーション研究会役員会

②第13回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研修会合同研修会

③おおいた食のリハビリテーション研究会

(栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)

第19回合同研修会・総会（平成28年7月17日）

第20回合同研修会（平成29年3月19日）

④大分県保健医療団体協議会（11団体）

第17回げんきフェア（平成28年11月6日）大分県社会福祉介護研修センターまつりへの協力
合同研修会（平成29年3月10日）テーマ「災害時におけるメディカルスタッフの対応について考える」

⑤大分県社会福祉介護研修センターへの協力

介護職員現任者研修(ヘルパー・デイサービス職員対象 平成28年8月～平成29年1月まで6回)

ケアマネージャー実践研修（ケアマネ対象）

摂食・嚥下セミナー

⑥竹田市ヘルパーマニュアル説明会（介護職員対象）（平成28年9月）

⑦県外への研修支援

高知県高齢者福祉課地域ケア会議用研修（平成28年8月）

(高知県栄養士会員対象)

沖縄県地域ケア会議研修（平成28年11月）

(他職種・沖縄県地域ケア会議参加対象)

⑧大分県地域包括支援センターリハ職等配置支援事業（人材育成事業）

(大分県委託事業) 平成28年4月30日・平成28年12月2日・平成29年2月4日

Ⅲ. 人材派遣

- ・地域ケア会議広域支援員派遣事業に支援員の推薦、派遣
推薦者：リーディングコーディネーター 1名
リーディングアドバイザー 3名
- ・市町村地域ケア会議 管理栄養士数 74名
- ・医師が参加する地域ケア会議
別府市・中津市・日田市・杵築市 管理栄養士各回 1名
- ・地域ケア会議多職種派遣事業に係る助言者の推薦、派遣
派遣先市町村 17市町村延べ79名 551回
- ・杵築市地域ケア会議（子育て支援・障害・生活困窮者支援）
派遣回数10回 管理栄養士1名

Ⅳ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

・課題

- ①医療と介護との連携による在宅支援
高齢者の低栄養の改善・疾病の重症化予防
- ②地域ケア会議での栄養ケア・マネジメントに対する理解
専門職としてのスキルアップ、管理栄養士の視点の統一
- ③在宅訪問栄養指導の実施
- ④認知症に対する理解

・今後の展開

- ①管理栄養士に対するスキルアップ研修の実施
栄養・食支援について専門的な視点から個人に対する栄養アセスメントを理解し適正な支援が出来るようスキルアップが重要であり、管理栄養士・栄養士の質の向上を計るための研修会を実施する。
- ②他職種及び地域連携を密にして、食を通して生活を整えていく事業を展開する。
- ③在宅訪問栄養指導の実際
高齢者の栄養改善は、食生活全般を見る必要があるため、複合的な（疾患、病状、栄養状態等）健康課題を持つ高齢者に対しての栄養及び食事の指導が必要である。特に「第二次生涯健康県おおいた21」策定計画において各分野の取り組みについて協力し、介護予防にもつながる在宅訪問栄養指導の重要性を強く感じている。潜在管理栄養士を発掘し研修会を実施する。経験者を担保し医療と介護の連携を密にして介護予防にも繋がる在宅訪問指導の実現を図りたい。
- ④健康寿命延伸に向けた取り組みについて
高齢者の介護予防・疾病の重症化予防、自立支援・QOLの向上を目指し低栄養等に対しての栄養食生活支援を行う。
- ⑤栄養ケア・ステーション事業の充実
電話相談事業、栄養・食生活に関する総合相談事業等
- ⑥障害者（児）等に関する取り組みが必要ではないかと考えている
- ⑦妊婦低体重児に対する（女性に関する栄養と食生活全般）栄養の指導
公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的として事業を展開しています。

NPO大分音楽療法研究会



会長

児玉典子

I. 研究会の現状

「音楽療法」とは、リズム・メロディー・ハーモニー等の様々な音楽要素を心身の回復に用いる技法で、本邦では（日本音楽療法学会：会員数約1万人）が中心になり、毎年“音楽療法士”を認定し、普及・啓発に努め、近年では、医療・リハビリ・福祉・教育など様々な現場で取り入れられております。

NPO大分音楽療法研究会は平成9年（1997年）の発足以来、年6回をベースとして勉強会を行い、年2回の会報は会員だけでなく関係団体等にも配布をしております。

現在の会員数は、音楽療法実践者・施設関係団体等を併せ約30名が在籍し（年会費6,000円）音楽療法に興味のある方なら誰でも気軽にご参加いただけることを信条としています。

大分県においても、音楽療法は障がい児・者療育、精神障がい者、脳卒中やパーキンソン病患者様などのリハビリ、認知症高齢者の生きがい支援など、多くの分野で取り入れられております。

県内には約20数名の＜日本音楽療法学会認定音楽療法士＞が活動しておりますが、なにぶん同資格は、学会認定の民間資格（国家資格化されていない）という状況にあり、医療・福祉・教育分野での広がりにはなかなか厳しい状況と言わざるを得ません。周囲の施設の方々のご理解・ご協力なくしては、その現場はなかなか確保できないというのが現状です。

II. 平成28年度の活動報告

平成28年5月15日（日曜日）13：30～16：30（アステム大分4F）

・勉強会 テーマ『認知症のケアについて』

講師：小野 隆宏氏（医療法人優心会 ハートクリニック院長）

6月26日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6F第1研修室

・勉強会&シンポジウム 『発会20年を振り返り、今後の研究会の在り方を考える』

シンポジスト 熊本 庄二郎氏（くまもとココロクリニック院長、認定音楽療法士）

塚原 敬和氏（大分音楽療法研究会事務局長）

児玉 典子氏（りずむらんど、大分音楽療法研究会会長、認定音楽療法士）

安部 ゆかり氏（優心会 ハートクリニック、認定音楽療法士）

8月21日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6F第1研修室

・勉強会『81歳 私の音楽人生を振り返って』

講師：堀 義孝氏（大分音楽療法研究会副会長）

・事例検討会『障がい者支援施設での音楽療法』～初めてのこころみ～

発表者：清家 祐香梨氏（佐伯市・介護福祉士）

10月23日（日曜日）10：00～16：30 場所（アステム大分4F）

・音楽療法セミナー 20周年記念公演『松井紀和のすべて』

講師：松井 紀和氏（精神科医、日本臨床心理研究所長、認定音楽療法士）

平成29年2月19日（日曜日）13：30～16：30 場所（大分県医師会館6F第1研修室）

- ・勉強会「これが継続の成功則」『施設・自治体・保護者が離さない音楽療法士の特徴』
～実用書出版から確信する音楽療法ニーズ～
講師：北島 京子氏（あおぞら音楽社 代表取締役）
- 3月12日（日曜日）13：30～16：30 場所（アステム大分4F）
- ・事例検討 発表者：木村 八重子氏（認定音楽療法士）
発表者：井上 直子氏（認定音楽療法士）

Ⅲ. 平成29年度の活動計画

- 5月12日（金曜日）19：00～20：30 大分県医師会館7階ホール
講演会「医療としての音楽療法」
・講師：佐藤 正之氏（三重大学医学部附属病院 認知症センター）
（※NPO大分音楽療法研究会 協賛行事）
- 5月21日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6階第1研修室
勉強会「私と音楽」
・講師：井野邊 純一氏（医療法人畏敬会 井野辺病院 院長、おおいたエイド代表）
平成29年度総会（第21回）
- 6月25日（日曜日）13：30～16：30 ホルトホール大分408会議室
勉強会「認知症カフェ“ハートカフェ”地域の社会資源としての役割と音楽効果について」
・講師：後藤 和也氏
（医療法人優心会 ハートクリニック、居宅介護相談室主任ケアマネージャー）
事例検討会 「地域での介護予防に着目した音楽」
・事例提示者：志賀 文江氏（音のWA音楽クラブ 主宰）
- 9月10日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6階第1研修室
勉強会「熊本地震の現状とそこで求められた音楽的支援について」
講師：池田 憲治氏
（介護老人保健施設 フォレスト熊本、認定音楽療法士、日本音楽療法学会評議員、日本音楽療法学会熊本地震対策特別委員会 委員長）
- 11月19日（日曜日）13：30～16：30 大分県医師会館6階第1研修室
勉強会「今後の音楽療法の動向について（仮）」
・講師：古賀 幹敏氏（認定音楽療法士、日本音楽療法学会理事、西日本芸術療法学会理事）
（平成30年）
- 2月未定（日曜日）13：30～16：30 医療法人畏敬会 井野辺病院（予定）
勉強会「音楽で健康づくりのお手伝い（仮）」
・講師：小田佳代子氏（MHS音わか代表、認定音楽療法士）

Ⅳ. 地域リハに関わる今後の課題や展望

地域の音楽療法士は現在、小児から高齢者まで多くの分野で活動しております。しかし、未だ音楽療法への正しい理解や認知度に於いて多くの課題があります。音楽療法の普及・啓発・啓蒙のために、専門職の皆さまと連携させていただきながら、地域に貢献していきたいと思っております。

尚、当研究会は諸事情により、平成29年度より大分県地域リハビリテーション研究会を退会させていただくことになりました。今までの皆様のご理解、ご協力に心より感謝申し上げます。大分音楽療法研究会は皆様のおかげにより、今年21周年を迎えることができました。これからもますます研鑽を重ね努力していく所存でございます。今後共どうぞご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

NPO 法人 大分県介護支援専門員協会



理事長

工 藤 修 一

特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、平成 12 年に「大分県介護支援専門員連絡協議会」として発足し、平成 18 年には特定非営利活動法人の認証を受け、名称も「協議会」から「協会」に変更しました。大分県の介護支援専門員の職能団体であるとともに、全国組織である日本介護支援専門員協会の大分県支部としての役割を担っており、設立以来、介護支援専門員の専門的資質の向上を目指して活動しています。現在、547 名の会員が在籍し、県下 13 支部協議会が組織化されています。

基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

平成 28 年度活動内容

1) 協会の運営

- | | |
|----------|-------|
| ①総会の開催 | 年 1 回 |
| ②理事会 | 8 回 |
| ③相談窓口の設置 | 随時 |

2) 組織強化

- ①新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
- ②各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④事務局体制の整備

3) 研修・広報

- ①グループスーパービジョン（事例検討チーム）学習会
- ②介護支援専門員試験受験対策講座
- ③介護支援専門員全国统一模擬試験
- ④主任介護支援専門員研修
- ⑤主任介護支援専門員実践力向上研修

- ⑥主任介護支援専門員更新研修
- ⑦実務従事者基礎研修法定研修
- ⑧グループスーパービジョンメンバーによる主任研修プレゼンテーション
- ⑨県南・県北地域での県介護支援専門員協会主催の研修
- ⑩その他介護支援専門員の資質向上に関する研修
- ⑪広報誌の発刊
- ⑫平成 29 年度ケアマネジメントプロセス質の向上支援委員会の設置
(大分県、大分市と協働で取り組みます)

4) 他団体との連携

大分県をはじめ、各種団体が行う会議等へ職能団として参画し、介護支援専門員の立場から積極的に意見や提言を行って来ました

連携先団体名

- ・大分県老人福祉計画策定協議会
- ・大分県難病医療連絡協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分県認知症施策推進会議
- ・大分県在宅医療連携委員会
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会
- ・大分県地域保険協議会高齢者介護小委員会
- ・大分大学福祉科学講座実行委員会
- ・脳卒中懇話会
- ・大分県地域リハビリテーション支援センター 運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター 運営委員会及び福祉用具部会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会役員会
- ・大分県地域包括ケア研究会 世話人会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会運営部会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会
- ・大分県災害リハビリテーション推進協議会 (大分 JRAT)

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 大分県介護福祉士会



会長
三浦 晃 史

I. 協会の現状

平成 29 年 4 月 30 日現在 会員数 1,299 名

組 織	支 部
○専門研修部 ファーストステップ研修 本研修 実習指導者講習会 サービス提供責任者研修 障害者のための支援研修	日出（別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市） 大分（大分市） 由布（由布市） 臼杵（臼杵市、津久見市） 佐伯（佐伯）
○学術研究部 通年研修	豊後大野（豊後大野市、竹田市）
○研 修 部 主催研修会の企画立案・実施	宇佐（宇佐市、中津市）
○教育研究部・講師養成事業 福祉の心醸成事業 出前講座 講師養成・講師派遣	日田（玖珠町、日田市）
○調 査 部	
○広 報 部	
○渉外事業部	

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

主催研修

- 第 23 回公益社団法人日本介護福祉士会全国大会・第 14 回介護福祉学会 in おおいた
テーマ：「広げようネットワーク！介護福祉士からの提言」～利用者やささえる専門職の輪～
日時：平成 28 年 11 月 25 日（金）・26 日（土）場所：別府ビーコンプラザ
 - 講演「介護人材確保と介護福祉士への期待」
厚生労働省社会・援護局基盤課 福祉人材確保対策室
 - シンポジウム『介護福祉士と多職種連携』～急性期から生活期まで～
パネリスト 大分県作業療法協会、大分県栄養士会、大分県歯科衛生士会 大分県介護福祉士会
 - 特別講演『笑って元気』～地域づくりは人づくりから～
講師：矢野 大和氏（おおいた観光特使）
- 第 1 分科会 「人材育成・人材教育・人材確保に関する実践」
助言者 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 理事長 冨永 健司 氏
- 第 2 分科会 「認知症ケア・障害者支援・権利擁護に関する実践」
助言者 九州ルーテル学院大学 人文学部 准教授 西 章男 氏
- 第 3 分科会 「地域の中で発揮する介護福祉士の力」
助言者 医療法人光心会 諏訪の杜病院 院長 武居 光雄 氏
- 記念講演① 『成熟社会の担い手として－福祉職の役割』
講師：紙屋 克子氏（筑波大学 名誉教授（医学博士）・京都看護大学教授）
- 記念講演② 『気づいていますか？～我々の気づきで利用者の人生が変わります』
講師：河原 英雄 氏（歯科医師・医学博士）・尾崎 洋美 氏（歯科医師）

- 第 1 回研修会 平成 28 年 6 月 26 日（日）「ケア場面での気づきと助言」 参加者 50 名
- 第 2 回研修会 平成 29 年 1 月 29 日（日）「抱えない介護」 参加者 48 名
- 第 3 回研修会 平成 29 年 4 月 9 日（日）「認知症との向き“愛”かた」 参加者 69 名
- 障害者支援のための研修会 平成 29 年 2 月 23 日（木）・24 日（金） 参加者 19 名
- 生涯研修ポイント還元研修会 平成 29 年 4 月 16 日（日）
「未来を支える介護福祉士」～日本介護福祉士会会長の vision～ 参加者 42 名
- 福祉・介護人材確保助成事業 出前講座（県下福祉系高校への介護技術講座の実施 6 回）

- ・大分県立大分南高等学校 2回（平成 28 年 10 月 17 日・10 月 20 日）・大分県立佐伯豊南高等学校（平成 28 年 6 月 28 日・平成 29 年 3 月 2 日）
- ・（学）岩尾昭和学園 昭和学園高等学校（平成 29 年 2 月 18 日）・NBU 日本文理大学附属高等学校（平成 29 年 3 月 9 日）
- 大分県社会福祉介護研修センター協力事業「子どものための福祉講座」年 8 回 講師人数 38 名
- 大分市社会福祉協議会協力事業「福祉講座」平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月 15 回 講師人数 34 名
- 宇佐市社会福祉協議会協力事業「出前授業」平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月 6 回 講師人数 6 名
- 由布市社会福祉協議会協力事業「福祉体験教室」平成 29 年 10 月 1 回 講師人数 2 名
- 実習指導者養成講習会の実施
 - 第 1 G 平成 28 年 7 月 16 日（土）・17 日（日）・7 月 30 日（土）・31 日（日） 受講者 40 名
 - 第 2 G 平成 29 年 2 月 25 日（土）・26 日（日）・3 月 18 日（土）・19 日（日） 受講者 31 名
- ヘルパー 2 級資格取得講座講師派遣 平成 29 年 1 月～4 月 講師派遣人数 22 名
- 介護福祉士国家模擬試験 平成 28 年 12 月 4 日（日）63 名受験
- 大分県高校生対象職業フェア（おおいた専修学校魅力フェア）への出展 平成 28 年 12 月 20 日

大分県地域リハビリテーション支援センター関連

- 大分県地域リハビリテーション支援センターの活動
 - ・第 13 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会
「地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割～有事に備えて、今やるべきこと～」
平成 28 年 7 月 10 日（日）スタッフ参加
 - ・平成 28 年度地域リハ実践者講師派遣 平成 28 年 8 月 20 日（土）講師 1 名
 - ・第 14 回拡大会議出席 平成 28 年 5 月 17 日（火）
- 大分県地域リハビリテーション研究会の活動
 - ・平成 29 年 2 月 26 日（日）15 周年記念講演会「患者と医療者のコミュニケーションを考える」出席
- おおいた食のリハビリテーション研究会の活動
 - ・平成 28 年 7 月 17 日（日）第 19 回研修会・総会 事例検討・研究報告会～みんなの疑問をみんなですべて解決しよう！～出席
 - ・平成 29 年 3 月 9 日（日）・第 20 回研修会 10 周年記念祝賀会・これからの 10 年 出席
- 大分県社会福祉介護研修センター摂食・嚥下セミナー 講師派遣 平成 28 年 6 月～9 月 4 回
講師派遣 4 名
- 「センターまつり&げんきフェア 2016」平成 28 年 11 月 6 日（日）
（一社）大分県介護福祉士会ブース設置（高齢者疑似体験） インストラクター派遣
- 大分市訪問型サービス事業所実践力向上研修への講師派遣 平成 28 年 8 月 24 日（水）
講師派遣 1 名

各種委員会への委員派遣

- 大分県地域リハビリテーション研究会・大分県排尿リハビリテーションケア研究会
- 大分県契約締結審査会委員・大分県ボランティアネットワーク委員会
- 大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会
- 大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会・大分県老人福祉計画策定委員会
- 大分県社会福祉介護研修センター運営委員会・大分県社会福祉介護研修センター福祉用具専門部会
- 中部圏地域リハビリテーション支援センター実行委員会・介護認定審査会
- 大分県医療適正化推進協議会委員・大分県国民健康保険運営協議会委員
- 大分県介護予防市町村支援委員会・大分県認知症施策推進委員
- 大分県福祉人材確保推進協議会・福祉人材確保推進会議・大分県地域包括ケア研究会
- 脳卒中懇話会世話人会・豊後大野市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会
- 大分県介護ロボット普及促進協議会・大分大学福祉講座・大分県作業療法協会
- おおいた食のリハビリテーション研究会・大分市在宅医療、介護連携会議委員
- 自立支援ヘルパー検討委員会
- 「人材不足分野における人材確保のための雇用管理改善促進事業（介護分野）」に係わる啓発実践員・教育過程編成委員会・日田市在宅医療連携会議委員
- おおいた介護ロボット等導入促進協議会・大分県高齢者福祉施策推進協議会

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

超高齢化と深刻な少子化を迎え、「一億総活躍社会」「我がごと丸ごと共生社会」「地域包括ケアシステム」の実現・深化が求められている。国民福祉の向上を使命とし、「暮らしを支える生活支援の専門職」である介護福祉士が果たすべき役割も新たな局面を迎えている。介護人材不足や処遇改善など、課題は山積しているが、これからも質の向上に邁進し、今後も継続して取り組み続けることが重要であると考えている。

このスピード感に遅れることなく関係機関及び関係団体との連携強化を図りながら魅力ある研修や情報提供はもとより未来を見据えた福祉人材確保にも注力し活動を進めていきたい。

公益社団法人 大分県看護協会



会長
竹 中 愛 子

I. 大分県看護協会の現状

- 1 会員数は9,666名。(平成29年3月末現在)
- 2 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護領域の開発・展開など8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3 事業は、職能委員会(4) 常任委員会(10)、特別委員会(1)の15委員会および県下を下記11の地域に分けた地区活動により展開している。
①国東 ②別府・杵築・日出 ③大分中央 ④大分東部 ⑤大分西部 ⑥臼杵・津久見 ⑦由布 ⑧豊後大野・竹田 ⑨中津・宇佐・豊後高田 ⑩佐伯 ⑪日田・玖珠・九重地区での活動
* 地区活動：施設代表者会議等看護の連携推進事業、地区研修事業(DVDの教材を提供)、看護の日事業等の地区活動事業を実施。

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成28年度は、年間169研修・延473日実施し、受講者数は延19,963人。

1) リハビリテーション関連研修の実施状況

主なりハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	開催日・受講者数
1	摂食・嚥下障害患者の看護	10月29日 100
2	准看護師研修:摂食・嚥下ケア	9月29日 51
3	在宅看護:誤嚥性肺炎を予防する摂食嚥下・口腔ケア	2月16日 31
4	ナーシングバイオメカニクスに基づく生活支援技術セミナー	2月15.16日 28
5	ベッドサイドが面白い～視よう・知ろう・看護の力～	2月15日 40
6	在宅看護:慢性呼吸不全患者の看護	10月15日 20
7	在宅看護:脳卒中患者の再発予防とリハビリテーション	12月8日 11
	計	7回 281

<県民の健康づくりの活動>

1 げんき教室

毎月第4水曜日14:00～15:30 計12回

会場:大分県看護研修会館 対象:高齢者等(一般)

参加者:延1,026人

2 「まちの保健室」開催

各会場で血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・骨密度測定・健康相談等を実施

①大分市おおいた食と暮らしの祭典 於) ガレリア竹町 5日間 (10月8.9.10.14.15日)
来場者 延 1,445人

②「人とみどりふれあいいち」

於) 平和市民公園 3日間 (4月6・12・22日) 来場者 延 232人

③大分県立図書館 2日間 (5月17日・11月8日) 来場者 延 213人

④「げんきフェア」於) 大分県社会福祉介護研修センター 1日 (11月6日) 来場者 215人

⑤ふれあいフェスタ 於) 大分県身体障害者福祉センター 1日 (11月13日) 来場者 67人

3 「平成28年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

テーマ「看護の心をナイチンゲールに学ぶ」

日時：平成28年5月14日(土) 13:00～16:30 参加者 111人

・「ふれあい看護体験」 93施設・参加者 578人

<会議等>

1 大分県地域リハビリテーション研究会

・大分県地域リハビリテーション研究大会 15周年記念講演会 平成29年2月26日(日)

病院等の看護職および看護協会から4名参加

・運営部会に担当者7回出席

2 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

平成28年7月10日(日) 病院等の看護職および看護協会から1名参加

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成29年度 地域リハ関連の活動・取り組み

<教育・研修事業>

1) リハビリテーション関連研修

①リハビリ関連研修を継続し、看護職の資質向上を図る 5研修実施予定

②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化

県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスや地域包括ケアが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習を受け入れ。

<県民の健康づくりの活動>

1) げんき教室 12回開催

2) 「まちの保健室」開催 6種類のまちの保健室開催予定

①大分市食と暮らしの祭典 ②人とみどりふれあいいち ③大分県立図書館 ④げんきフェア

⑤ふれあいフェスタ ⑥健康寿命日本一まちの保健室

3) 「平成29年度看護フォーラム」(看護の日・看護週間事業)

日時：平成29年5月14日(日) 13:00～15:30

<会議等>

1) 大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議

2) 大分県地域リハビリテーション研究会

・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会

・役員会、運営部会

3) 大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

公益社団法人 大分県言語聴覚士協会



会長

佐藤 俊彦

I. 協会の現状

1) 会員数及び施設数（平成29年3月31日現在）

会員数 : 324名 ※約7割が大分、別府に集中している

施設数 : 101施設

2) 構成 : 事務局（総務部、財務部、災害対策部）

社会局（生涯学習部、広報部、福利厚生部）

事業局（医療保険部、介護保険部、障害保健福祉部、地域活動推進部）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

1) 言語障害友の会「なし会」関連

①第15回なし会総会

日時：平成28年8月7日（土） 10:00～13:00

場所：ホルトホール大分 410会議室（大分市）

内容：なし会総会、交流会等

参加者：なし会会員・家族16名、県士会会員14名、計30名

②なし会忘年会

日時：平成28年12月4日（日） 11:00～14:00

場所：ホテルサンバリー（別府市）

内容：レクリエーション・交流会・食事会・カラオケ等

参加者：なし会会員・家族14名、県士会会員15名、計29名

③各ブロック会への参加

日時：1～2ヶ月に一回程度（各ブロック会にて決定）

場所：各ブロック会にて決定

内容：交流会、食事会、情報交換会等

④啓発活動

ア) 言語障がい者の集い in 大分

日時：平成29年2月4日（土） 10:00～15:30

場所：ホルトホール大分 大会議室

内容：市民公開講座等

参加者：県士会会員44名、当事者・多職種・一般83名、計127名

イ) パンフレットの増刷及び配布

⑤なし会ホームページの運営

内容：各ブロックで随時更新

⑥失語症会話サポーター養成講座

日時：第1回 平成28年7月24日（日）

第2回 平成28年9月4日（日）

場所：第1回 ホルトホール大分 408会議室

第2回 生涯学習施設 別府市ふれあい広場サザンクロス第2会議室

内容：失語症会話サポーター養成

対象者：一般市民、医療関係者、ケアマネジャー、学生、当事者、家族等

参加人数：第1回 63名

(一般市民 16 名、看護師 2 名、作業療法士 6 名、言語聴覚士 6 名、ケアマネジャー 16 名、介護福祉士 4 名、社会福祉士 1 名、ヘルパー 4 名、学生 2 名、成年後見人 1 名、当事者とその家族 5 名)

第 2 回 54 名

(一般市民 11 名、看護師 2 名、理学療法士 1 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 13 人、歯科衛生士 2 名、ケアマネジャー 6 名、介護福祉士 4 名、ヘルパー 5 名、家族 6 名)

2) げんきフェアへの参加

第 17 回げんきフェア

日 時：平成 28 年 11 月 6 日 (日)

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：言語、嚥下、発達相談、脳のリハビリ体験コーナーを実施

参加者：約 1,000 人 (協会ブース体験者 74 名)

3) 大分県地域リハビリテーション関連

①第 13 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会

日 時：平成 28 年 7 月 10 日 (日) 9:50 ~ 16:00

場 所：ビーコンプラザ 3 階 国際会議室

参加者：役 140 名

②第 6 回 地域リハ研究会 ケア研究大会 10:00 ~ 15:30

日 時：平成 29 年 2 月 26 日 (日)

場 所：ビーコンプラザ 3 階 国際会議室

参加者：83 名

4) おおいた食のリハビリテーション研究会

(公社)大分県栄養士会、(一社)大分県歯科衛生士会、(一社)大分県介護福祉士会、(公社)大分県言語聴覚士協会

①10 周年記念講演会合同開催

5) 5 歳児発達相談会・巡回相談への派遣

・中津市 ~ 派遣回数 4 回

・杵築市 ~ 派遣回数 8 回

・日田市 ~ 派遣回数 3 回

・由布市 ~ 派遣回数 4 回

・豊後高田市 ~ 派遣回数 4 回

6) 他団体等への講師派遣

①心のネットワーク事業地域研修会 ~ 派遣回数 10 回

内 容：幼児期におけることばの支援について

②放課後等デイサービスにおける言語聴覚士の派遣 ~ 派遣回数 20 回

内 容：児童及び職員への言語指導・アドバイス

7) リハ関連団体及び県・行政との連携

①大分 JRAT 関連会議参加 ~ 参加回数 4 回

②平成 28 年度介護予防職員育成推進事業研修 サービス計画担当者研修 講師派遣 ~ 派遣回数 6 回

③平成 28 年度 介護予防職員育成推進事業研修 介護職員現任者研修 講師派遣 ~ 派遣回数 2 回

④大分県ホームヘルパー協議会多職種連携研修 講師派遣 ~ 派遣回数 1 回

⑤平成 28 年度摂食・嚥下セミナースキルアップ研修 講師派遣 ~ 派遣回数 3 回

III. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステム構築に向けた県内の取り組みが推進されるなか、コミュニケーションや食に対する地域支援に対する当協会の役割は大きいと考えます。平成 29 年度においても、言語障害友の会「なしかい」、家族会への協力や側方支援に加え、失語症会話パートナー養成講座を通じた人材育成や啓発活動に取り組んでいきます。

今後も、地域のニーズや行政機関からの要請に応えることができる専門職能団体として、大分県の地域リハビリテーション活動に貢献していきたい。

公益社団法人 大分県作業療法協会



会長
高 森 聖 人

I. 協会の現状

正会員数 898 名（うち自宅会員 55 名）／所属施設数 214 施設／6 圏域 11 支部
名誉会員 1 名，賛助会員 5 団体，有識者理事 6 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

啓発・普及事業

- 作業療法一日体験 平成 28 年 7 月～8 月 参加者：県内高校生 201 名
- 作業療法フェスタ 2016 平成 28 年 8 月 21 日（日） 参加者：約 600 名
- 作業療法ミニフェスタ
 - 日出町「城下カレイ祭り」 平成 28 年 5 月 15 日（日） 来場者：約 400 名
 - 日田市「日田市市民健康福祉祭り」 平成 28 年 10 月 9 日（日） 来場者：約 350 名
 - 佐伯市「さいき交通安全フェスタ」 平成 28 年 10 月 30 日（日） 来場者：約 350 名
 - 豊後大野市「ふるさとまつり 2016」 平成 28 年 11 月 13 日（日） 来場者：約 150 名
 - 大分市「春日まつり」 平成 28 年 11 月 13 日（日） 来場者：約 350 名
- 「作業療法の日」リハビリテーション相談 平成 28 年 9 月 25 日（日） 来場者：約 60 名
- 「リレー・フォー・ライフ大分 2016」参加
平成 28 年 10 月 8 日（土）～9 日（日） 参加者：75 名（会員 33 名，作業療法学生 42 名）
- 「大分県社会福祉介護研修センターまつり&げんきフェア 2016」作業療法コーナー設置
平成 28 年 11 月 6 日（日） 来場者：約 200 名
- 「大分大学開放イベント 2016」作業療法コーナー設置
平成 28 年 11 月 6 日（日） 参加者：約 100 名
- ジョブカフェおおいた 職業人講話（別府翔青高校）
平成 28 年 11 月 10 日（木） 参加者：43 名
- 中学生「職場体験」への協力
受け入れ可能施設：52 施設 情報提供先：17 市町教育委員会
- 「おしごとガイド 作業療法士～人を笑顔にするリハビリテーション～」発行
贈呈先：大分県内小中学校 395 校

研修会等

- 第 20 回大分県作業療法学会 平成 29 年 1 月 22 日（日） 参加者：165 名
テーマ「承前啓後～地域をつなぐ作業療法の技～」
- 第 34 回全体研修会 平成 28 年 8 月 28 日（日） 参加者：61 名
テーマ「多職種連携で認知症のある人を支援する」
- 地域ケア会議助言者育成研修 平成 28 年 6 月 19 日（日） 参加者：9 名
- 地域ケア会議新規助言者研修会 平成 28 年 9 月 5 日（月） 参加者：8 名
- 制度対策研修会 平成 29 年 2 月 19 日（日） 参加者：33 名
- 生活行為向上マネジメント研修会
 - ①アドバンス研修 平成 28 年 11 月 19 日（土） 参加者：11 名
 - ②基礎研修 平成 28 年 7 月 16 日（土） 参加者：78 名

- 平成 28 年 10 月 30 日 (日) 参加者：26 名
 平成 28 年 5 月 28 日 (土) 参加者：7 名
 平成 28 年 8 月 6 日 (土) 参加者：4 名

③事例検討会

●大分県リハ職等スキルアップ研修 (全 8 回)

平成 28 年 7 月 24 日 (日) 102 名 | 平成 28 年 8 月 26 日 (金) 65 名 | 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 50 名
 平成 28 年 11 月 6 日 (日) 70 名 | 平成 28 年 11 月 25 日 (金) 26 名 | 平成 28 年 12 月 16 日 (金) 32 名
 平成 29 年 2 月 12 日 (日) 29 名 | 平成 29 年 2 月 24 日 (金) 31 名

人材派遣等

●市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣

○大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣

推薦者：リーディングコーディネーター 3 名, リーディングアドバイザー 5 名

派遣先：4 市 / 派遣者：2 名 / 派遣回数：6 回

○大分県地域ケア会議多職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣

派遣先：16 市町 / 派遣者：延べ 58 名 (登録者 55 名) / 派遣回数：256 回

○医師が参加する地域ケア会議への助言者派遣

派遣先：3 市 / 派遣者：3 名 / 派遣回数：3 回

●市町村等の介護認定審査会委員の推薦

推薦先：5 市 / 推薦者：17 名

●市町村等の障害者介護給付費等認定審査会委員の推薦

推薦先：1 市 / 推薦者：1 名

●豊後高田市乳幼児精密検診事業への人材派遣

派遣先：1 市 / 派遣者：2 名 / 派遣回数：4 回

●地域リハビリテーション活動支援事業における地域ふれあいサロンへの人材派遣

派遣先：1 市 / 派遣者：4 名 / 派遣回数：10 回

●在宅医療・介護連携推進事業 (大分県) への人材派遣

派遣者：1 名

●各種研修会等への講師等派遣

○大分県内 派遣先：22 事業 / 派遣回数：60 回

○大分県外 派遣先：8 事業 / 派遣回数：8 回

その他

●広報誌「伝 DEN」の発行 平成 28 年 5 月, 平成 28 年 10 月 / 各 2,300 部

●県・市町村が設置する協議会・委員会等への出席

●地域リハ関連団体との連携

○関連団体の理事, 監事, 委員, 世話人等

○委員会・会議等への出席

○事業企画・運営への協力等

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

「地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現」といった国が示す方向性や関連諸制度の動向、県市町村等の取り組みを踏まえた上で、厚生労働省の介護予防活動普及展開事業等によりこれまで以上に注目されている大分県内の地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを後押しするために、行政機関や他団体等と連携をより一層深めるとともに地域ケア会議や介護予防・日常生活支援総合事業等、地域において求められる人材の確保と育成を図る。その中でも認知症対策は重要な課題であり、日本作業療法士協会 認知症のある人の生活支援推進委員会と連動して、認知症アップデート研修を行うなど、認知症のある人とその家族を地域で支えるための取り組みを促進していく。

また「平成 28 年熊本地震」により県内においても甚大な被害が生じ、大分 JRAT の設立等、災害対策が進んでいるところであり、当協会においても災害時リハビリテーション支援のあり方をより具体的に検討する必要があると考える。

より、地域に根ざした活動を実施するために、支部組織を改編し、かつ市町村ごとに担当窓口を置いて、各市町村とより緊密な関係を構築することにより地域の実情に応じた支援の展開と作業療法の啓発普及に努める。

一般社団法人 大分県歯科医師会



会長
長尾 博通

1. 会の現状

会員数：624名（平成29年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当している。

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し、80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしている。昨年度は優秀賞5名、優良賞10名を選出し表彰した。

* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問する。口腔内検診、歯科保健指導や口腔ケア、義歯のネーム入れ、また施設職員を交え入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合う。27年度は、九重町の「特別養護老人ホーム シルバーランドメルヘン」を訪問した。

* 障がい者歯科保健研修会の開催

口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催している。28年度の研修会は、京都歯科サービスセンター歯科衛生士、東出歩美先生をお招きし、「『自閉スペクトラム症の理解とその対応法～視覚的支援を利用した患者とのかかわりを中心に～』」という演題でご講演いただいた。

* 障がい児者口腔状況把握事業

県委託事業として、14施設を訪問し、547名の健診を行った。

* 全国共通がん医科歯科連携講習会

平成28年9月24日、大分県歯科医師会館にて開催

本研修会は「口腔ケアや歯科治療が、より質の高いがん治療を提供する上で重要である」とし、がん患者の治療前の口腔ケアを地域歯科医療機関に依頼し、これを実施するものである。

本講習会は、連携にたずさわる歯科医療従事者に研修を行い、知識を統一することで連携の質を担保し、各地域間での差異を解消することを目的としている。

***大分県がん患者医科歯科医療連携事業合意書調印式**

平成 29 年 1 月 19 日、大分県歯科医師会館にて開催

本会では、既に大分大学医学部附属病院、大分赤十字病院、大分県済生会日田病院、大分県立病院、独立行政法人国立病院機構別府医療センターとの連携事業を実施しており、今回の中津市立中津市民病院との連携合意により、県下全ての「がん診療連携拠点病院」との連携事業を実施できる運びとなり、がん患者が安心して住み慣れた場所で歯科治療や口腔ケア受けることができる整備が広がった。

***各種委員会、協議会、研修会への参加**

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国 8 0 2 0 運動推進協議会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会 等

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

障がい者高次歯科医療機関の設備整備を本年度中に実施する予定となっており、より一層の障がい者歯科医療提供体制を行政と連携する。

認知症施策にともない歯科医師対象の認知症対応力向上研修会が平成 29 年度より始まる。会員に研修会の参加を促し、認知症患者の食支援や多職種連携の強化を図る。

一般社団法人 大分県歯科衛生士会



会長

有松ひとみ

I. 協会の現状 会員数 233名（平成29年3月31日現在）
3支部 県南地区（佐伯・津久見・臼杵） 豊肥地区（竹田・豊後大野） 日田地区

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

II-1 主催研修会

リフレッシュ・地域歯科保健 研修会

- ▶ 平成28年7月31日（日）9:30～10:50 大分日赤病院 受講人数；35名
テーマ：大分市の歯科保健事業の取り組みについて

摂食・嚥下機能療法の基本技術 研修会

- ▶ 平成28年5月29日（日）9:30～12:30 アイネス 受講人数；45名
テーマ：効果的な普及啓発を目指して！！オーラルフレイルを理解しよう
- ▶ 平成28年8月28日（日）9:30～12:40 ホルトホール大分 受講人数；46名
テーマ：わかりやすい摂食・嚥下訓練の実際

歯周病研修会

- ▶ 平成28年6月26日（日）9:30～13:40 大分赤十字病院 受講人数；56名
テーマ：歯科衛生士の視点からの米国最新報－シャープニングの実践を踏まえて－
- ▶ 平成28年10月16日（日）9:30～12:40 大分赤十字病院 受講人数；54名
テーマ：歯周予防に関心のない患者さんへの効果的なアプローチ
－困っていませんか？こんな患者さんとのトラブル&ハプニング
- ▶ 平成29年2月19日（日）17:00～19:00 ホルトホール大分 受講人数；63名
テーマ：Smart Periodontology ～無駄のない賢いペリオマネージメント～（県委託事業）
- ▶ 平成29年2月28日（火）15:00～17:30 大分赤十字病院 受講人数；23名
テーマ：歯科衛生士臨床のための口腔内写真撮影

医療安全管理対策研修会

- ▶ 平成28年7月3日（日）10:00～12:00 ホルトホール大分 受講人数；22名
テーマ：歯科診療所における院内感染対策

地域包括支援センターリハ職等配置支援事業に係る人材育成研修会（大分県委託事業）

- ▶ 第1回 平成28年7月31日（日）11:00～13:00 大分日赤病院 受講人数；41名
テーマ：熊本・大分災害支援派遣報告・災害支援活動～避難所体験と図上訓練～
- ▶ 第2回 平成28年9月11日（日）10:00～12:00 ホルトホール大分 受講人数；49名
テーマ：地域で診る障がい者歯科～センターからかかりつけ歯科医へ～
- ▶ 第3回 平成28年10月2日（日）9:30～12:40 別府ビーコンプラザ 受講人数；43名
テーマ：介護と医療の連携を考える

- 第4回 平成28年10月30日(日) 10:00～12:00 大分日赤病院 受講人数:39名
テーマ:やさしいがん講座～がんの正しい理解のために～
- 第5回 平成28年11月13日(日) 9:30～11:30 ホルトホール大分 受講人数:28名
テーマ:訪問看護師からの高齢者の特徴と疾患
- 第6回 平成29年3月11日(土)12日(日) ホルトホール大分 受講人数:41名
テーマ:地域ケア会議のこれからを考える～各市町村別報告と課題～

大分県歯科衛生フォーラム

- 日時:平成29年1月29日(日) 9:30～15:30 受講人数:136名
会場:明日香美容文化専門学校 10階大ホール
テーマ:「歯科衛生士の明日を拓く」基調講演・講演1・講演2・口演発表者3名

リカバリーセミナー(大分県歯科医師会共催)

- 日時:平成29年2月19日(日) 9:30～12:40 県歯科医師会館 受講人数:19名
テーマ:「社会的使命と心得」「歯科臨床における感染対策・医療安全」「患者指導」「最近の歯科材料・器材」

認定セミナー(日本歯科衛生士会主催 大分県歯科衛生士会協力)

- 日時:平成28年12月3日(土) 9:00～17:00 県歯科医師会館 受講人数:60名
12月4日(日) 9:00～17:00 県歯科医師会館 受講人数:60名
テーマ:「在宅療養指導・口腔機能管理プログラム」

II-2 後援・協力研修会【抜粋】

- ①第13回大分県地域リハビリテーション研究会、県リハ支援センター合同研修会
- ②第19回20回おおいた食のリハビリテーション研究会研修会
- ③第17回元気フェア大分県保健医療団体協議会;平成28年11月6日(日)
- ④大分地域リハビリテーション・ケア研究会 15周年記念講習会・研修会
・平成29年2月25日(土)26日(日)

II-3 講師派遣【抜粋】

- ①地域包括ケアシステム推進事業 ②大分圏域介護予防事業及び口腔機能向上事業
- ③障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業 ④その他

II-4 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係 ②行政関係(県及び市町村) ③その他

II-5 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ・平成28年6月5日(日) 歯と口の健康週間(大分市2会場) 来場者770名
- ・平成28年10月22日(土) 特別養護老人ホームシルバーランドメルヘン(九重町)

III. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

この世に生を受けたときから終える瞬間まで、人生における各ライフステージに合わせた予防的アプローチを専門とする歯科衛生士は、国民目標である健康寿命延伸の一つの柱として、非感染性疾患(Non-Communicable Diseases)の対応をふくめた歯と口腔の健康づくりが重要な責務であります。咀嚼を含めた摂食嚥下の領域は食べる楽しみや幸せに直結しますし、誤嚥性肺炎などの気道感染からQOLを低下させない口腔ケアへの関心の高さは、専門職への期待であると感じています。今後の課題としては、地域包括ケアシステム構築の一翼として、地域貢献を見据えた活動ができればと考えております。

大分県視能訓練士会



会長

安 田 昌 子

1. 会の現状

会員数 140 名（平成 29 年 5 月 1 日現在）

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

〈他団体との共催・後援事業〉

- ・第 13 回 大分県リハ支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会 合同研修会

日 時：平成 28 年 7 月 10 日（日）9：50～16：10

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議場

テーマ：地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割

スタッフにて参加

- ・センターまつり&げんきフェア 2016

日 時：平成 28 年 11 月 6 日（日）10：00～14：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：眼の健康チェック、パネル展示（ブース来場者 約 100 名）

- ・大分地域リハビリテーション研究会 15 周年記念講習会

日 時：平成 29 年 2 月 26 日（日）10：00～15：00

場 所：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室

シンポジスト、およびスタッフにて参加

〈主催の研修会〉

- ・第 6 回 勉強会

日 時：平成 28 年 4 月 24 日（日）10：00～13：15

場 所：大分視能訓練士専門学校

内 容：

- (1) 講演および瞳孔検査の技術講習

「神経眼科～瞳孔不同と対光反射～」

田村弘一郎先生（大分大学医学部 眼科）

- (2) 一般演題

「眼科健診で見逃された弱視の検討」

安部美紀（大分大学医学部附属病院）

「別府市の 3 歳 5 ヶ月児健診について」

亀井久典（高木眼科医院）

「大分市の3歳児健康診査 参加に向けて」 久保三枝（阿部眼科医院）
参加者：77名

・第7回 勉強会

日 時：平成28年10月23日（日）10:00～13:10

場 所：大分視能訓練士専門学校

内 容：一般演題

- 「おかだ眼科について～院内紹介と検査～」 児玉静香（おかだ眼科）
「当院における眼底検査とその治療」 高倉未来（おかだ眼科）
「眼科の紹介」 江藤美里（野田眼科）
「多焦点眼内レンズを挿入した症例のその後の生活や現状について」
三代 唯（野田眼科）
「くも膜下出血による視野異常に対してプリズムを処方した症例」
小出真実（大分大学医学部附属病院）
「心因性視覚障害が疑われた1症例」 池平 絢（阿部眼科医院）
「調節性内斜視にて経過観察の1症例」 田中かおり（阿部眼科医院）
「虹彩付ソフトコンタクトレンズを処方した小児の1例」
芳山友梨（調枝眼科）
「小学生へ遠近両用コンタクトレンズを処方した1症例」
久保三枝（阿部眼科医院）
「県立病院における外斜視の手術までの検査の流れ」
加藤千鶴（大分県立病院）
「大分大学における斜視の治療方針」 安田昌子（大分大学医学部附属病院）

参加者：55名

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

会員数も少しずつ増え、定期的に年に2回の勉強会を開催できるようになりました。しかしながら、まだまだ未熟な会のため、地域リハ活動について各会員の意識が低く、十分に理解していないというのが現状です。今後は、会員向けに地域リハ活動への参加を呼びかけ、会として少しでも貢献できればと考えております。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長
深見 憲一

1 会の現状

会員センター 63センター

- ・地域包括支援センター 50センター
- ・在宅介護支援センター 6センター
- ・地域総合相談支援センター 7センター

2 主な活動・取り組み

(1) 研修会等の開催

九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー < 大分県で開催 >

日時 平成28年11月24日(木)～25日(金)

会場 大分オアシスタワーホテル(大分市)

参加 201名(大分県104名)

内容 **基調報告**

「地域包括支援センター・在宅介護支援センター協議会としての今後の戦略」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之 氏

行政説明

「地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割」

厚生労働省 九州厚生局 健康福祉部地域包括ケア推進班

課長 山内 強 氏

シンポジウム

「熊本地震における地域包括・在宅介護支援センター等の対応」

進行:

熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 鴻江 圭子 氏

報告者:

熊本市高齢者支援センターささえりあ水前寺 センター長 谷口千代子 氏

熊本県介護支援専門員協会 副会長 加來 留 氏

株式会社南阿蘇ケアサービス 副ホーム長 松尾 弥生 氏

基調講演及びパネルディスカッション

「地域包括ケアシステム構築に向けた地域づくりのポイント」

～新しい総合事業を活かした自治体の取り組み～

講師及びコーディネーター:

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 岩名 礼介 氏

パネラー:

臼杵市医師会地域包括支援センターコスモス(大分県) 小畑 和美 氏

別府市中部地域包括支援センター(大分県) 管野 洋子 氏

佐々町地域包括支援センター（長崎県）

江田 佳子 氏

座長（進行）：

中津総合ケアセンターいずみの園在宅サービス事業部（大分県）

次長 伊藤 保幸 氏

（2）ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や介護等の活動に対する支援

3 情報提供

他機関が実施する各種研修会への参加案内

4 関係機関・団体との連携

（1）県内関係機関・団体との連携

県内関係機関・団体の会議等への出席

（2）県との協調・支援

（3）全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

大分県地域リハビリテーション研究会



会長
武居 光雄

1. 会の現状

- 会 長：武居 光雄
- 副 会 長：三浦 晃史、有松 ひとみ
- 幹 事：各団体より代表者1名
- 監 事：長岡 博志、陶山 直昭
- 顧 問：根橋 良雄、原田 禎二、本田 昇司
- 名誉顧問：有田 眞、佐竹 孝之
- 所属団体：18団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(公社)大分県臨床検査技師会	(一社)大分県歯科医師会	(一社)大分県歯科衛生士会
(一社)大分県介護福祉士会	(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会	大分県臨床心理士会
大分県介護支援専門員協会	NPO 大分音楽療法研究会	大分県視能訓練士会

2. 平成28年度 活動報告

①第13回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日 時：平成28年7月10日（日）

会 場：B-CON PLAZA 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室

参加者：140名

➤ シンポジウム

テーマ：『大分県における地域リハビリテーションと災害時の対策～多方面から考える～』

シンポジスト①：大分岡病院 理学療法士 大塚 未来子氏

シンポジスト②：大分県作業療法協会 副会長 日隈 武治氏

シンポジスト③：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居 光雄

アドバイザー：茨城県理学療法士協会 会長・日本理学療法士協会 副会長 斉藤 秀之氏

司 会：大分県リハビリテーション支援センター 企画調整室 井上 龍誠氏

②15周年記念交流会の開催

日 時：平成29年2月25日（土）

会 場：レンブラントホテル大分 2F 二豊の間

参加者：80名

招待者：大分県知事 広瀬 勝貞氏

大分県福祉保健部 部長 草野 俊介氏

大分県福祉保健部 参事監 兼 健康づくり支援課長 藤内 修二氏

大分県福祉保健部 健康づくり支援課 主幹 島川 雄司氏

認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

15周年記念講演会 シンポジスト (5名)

③ 15周年記念講演会の開催

日 時：平成 29 年 2 月 26 日 (日)

会 場：B-CON PLAZA 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室

参加者：83 名

テーマ：『患者と医療者のコミュニケーションを考える』

(1) 基調講演「大分県地域リハビリテーション研究会のあゆみ」

演 者：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居 光雄

(2) 特別講演「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

講 師：認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居 光雄

(3) シンポジウム

テーマ：『患者と医療者のコミュニケーションを考える』

シンポジスト①：(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会 松尾 美穂氏

シンポジスト②：(公社) 大分県言語聴覚士協会 中村 太一氏

シンポジスト③：大分県視能訓練士会 久保 三枝氏

シンポジスト④：(一社) 大分県介護福祉士会 大場 喜弘氏

シンポジスト⑤：(公社) 大分県看護協会 稲生 野麦氏

アドバイザー：認定 NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口 育子氏

司 会：大分県地域リハビリテーション医師懇話会 井野辺 純一

(公社) 大分県放射線技師会 末吉 聖二

④ 名義後援

➤ 第 34 回大分県病院学会 (平成 28 年 11 月 13 日)

➤ 第 23 回公益社団法人日本介護福祉士会全国大会・第 14 回日本介護学会 (平成 28 年 11 月 25 日～26 日)

➤ 中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター研修会 (平成 29 年 1 月 26 日)

⑤ 広報誌の発行

第 23 号：印刷部数 500 部 (平成 29 年 3 月 31 日発行)

⑥ 運営部会の開催

第 1 回：平成 28 年 5 月 17 日 (火) 第 2 回：平成 28 年 9 月 6 日 (火)

第 3 回：平成 28 年 10 月 12 日 (水) 第 4 回：平成 28 年 11 月 22 日 (火)

第 5 回：平成 29 年 1 月 24 日 (火) 第 6 回：平成 29 年 2 月 13 日 (月)

第 7 回：平成 29 年 3 月 6 日 (月)

⑦ 役員会の開催

第 27 回：平成 28 年 5 月 25 日 (水) 第 28 回：平成 29 年 3 月 13 日 (月)

一般社団法人 大分県病院協会



会長

川 眞 人

I. 協会の現状

1. 病院協会の現状（平成 29 年 3 月 31 日現在）

(1) 会員数 128 病院

(2) 構 成

- ・会 長 川眞人（川眞整形外科病院）
- ・副会長 畑 洋一（畑 病院）
- ・副会長 小寺 隆（佐伯中央病院）
- ・地区毎の理事、及び所属病院数
 - 県北（所属病院数 24）理事 佐藤仁一、瀧上 茂
 - 別杵（所属病院数 24）理事 畑 洋一、黒木健次、山本記顯
 - 大分（所属病院数 47）理事 武居光雄、井野邊純一、帆秋善生、秋満忠郁、立川洋一
 - 久大（所属病院数 19）理事 山本 亨、山下太郎
 - 豊肥（所属病院数 4）理事 大久保健作
 - 県南（所属病院数 10）理事 小寺 隆、曾根 勝
- ・監 事 豊田貫雄、長松宜哉
- ・顧 問 岡 宗由
- ・参 与 野口志郎

2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能を活かした質の向上と効率化の徹底
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任を持って仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 来るべき大災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築に備える
- 12) 地域医療介護総合確保基金（医療分）に対する取り組み

II. 地域リハ関連の活動・取り組み

A. 病院協会の活動報告

1. 平成 28 年度一般社団法人大分県病院協会 定時社員総会

- ・開催日時 平成 28 年 6 月 25 日土曜日 午後 3 時
 - ・場 所 大分センチュリーホテル 2 F 桜の間 (大分市府内町 1-4-28)
 - ・特別講演 参加者 58 名
2. 理事会 計 6 回開催
 3. 第 34 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催
第 34 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催
 4. 第 34 回大分県病院学会
 - ・学会テーマ 上善は水の如し
～不撓不屈の精神でみんなのために～
 - ・開催日時 平成 28 年 11 月 13 日 (日) 8:40～16:10
 - ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
 - ・参加人員 (概数) 計 2,538 名
 - ・特別講演
 - ・シンポジウム 「おもしろき医療・おもしろき介護」
 - ・分科会 演題総数 176 題 (口演 68 題・ポスター 110 題)
 5. 名義後援
 - ・第 20 回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
 - ・第 26 回大分県老人保健施設大会
 - ・第 23 回 (公社) 日本介護福祉士会全国大会・第 14 回日本介護学会
 - ・第 21 回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
 - ・排泄ケア取り組み事例発表セミナー
 - ・第 22 回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 他

B. 部会 (コメディカル部門) の活動報告

1. 事務部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 2 回開催
2. 看護部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 3 回開催
3. 栄養部会
 - ・研修会 計 3 回開催
 - ・委員会 計 5 回開催
4. 社会福祉部会
 - ・研修会 計 2 回開催
 - ・委員会 計 6 回開催

Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

2025 年問題に向けて地域包括ケアシステム構築が開始された。大分県病院協会及びその会員病院はかかりつけ医として、また、各地域の基幹病院として担う役割は大きい。病病連携、病診連携、福祉施設との連携を強化し高齢者、障害児、障害者が暮らしやすい社会になるように最大限の協力を惜しまない。また、災害時の医療拠点として、JMAT、AMAT 及び大分 JRAT にも総力を挙げて協力する予定である。

公益社団法人 大分県放射線技師会



会長

江 藤 芳 浩

I 本会の現状

会員数 349 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

II 主催事業

1. (公社) 大分県放射線技師会第 22 回学術大会

日時 平成 29 年 1 月 14 日（土） ホルトホール大分「302 会議室」

特別講演 「阿蘇医療圏の現状と将来展望」 阿蘇医療センター 病院長 甲斐 豊

2. (公社) 大分県放射線技師会第 4 回臨床技術セミナー

日時 平成 29 年 3 月 4 日（土） 社会医療法人三愛会 大分三愛メディカルセンター 「2F 会議室」

基礎講座 「腰椎疾患に対するリハビリテーション」 麻生整形外科クリニック 理学療法士 浦崎 譲

特別講演 「腰椎の診断について」 大分三愛メディカルセンター 脊椎・脊髄外科部長 松本博文

3. 第 13 回レントゲン週間イベント

平成 28 年 11 月 20 日（日） 交流ひろば HiCaLi

超音波操作体験、放射線被ばく相談、栄養相談、乳がん自己検診啓発、骨密度測定、パネル展示等

4. 学校訪問授業（主催）

県内の 3 校訪問（藤華医療技術専門学校、大分市立佐賀関小学校、大分県消防学校救急科）

III 共催事業

1. 第 11 回九州放射線医療技術学術大会

日程 平成 28 年 11 月 5 日（土）～ 6 日（日）

別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza

大会テーマ「放射線技術の飛躍～求められる深化と多様性～」

特別講演「看護ケアを科学する方法論の構築～褥瘡ケアの体系化を目指して～」

講師 東京大学大学院医学系研究科教授 真田弘美 先生

シンポジウム 「放射線技術の飛躍～求められる深化と多様～」

1. 「疾患に向き合う放射線技術 ～多職種との共同研究のすすめ～」

2. 「放射線災害対応に求められる放射線技術の知識」

公開講座 「正しく知ろう！乳がんのこと～画像診断による早期発見と治療～」

基調講演「乳がん手術の最前線」 うえお乳腺外科 院長 上尾裕昭 先生

2. げんきフェア（共催）（大分県保健医療団体協議会主催）

日程 平成 28 年 11 月 6 日（日） 大分県社会福祉介護研修センター

内容 マンモ触診疑似体験・相談、マンモ自己検診パンフレットの配布

3. 第 13 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日時 平成 28 年 7 月 10 日（日） 別府ビーコンプラザ 3 階「国際会議室」

テーマ「地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割～有事に備え、今からやるべきこと～」

報 告 「H27 年度地域リハビリテーション活動報告・H28 年度の事業計画」

「県健康づくり支援課、高齢者福祉課より H28 年度事業説明」

講演 1 「大規模災害における保健医療福祉のコーディネート」

講師 大分県庁福祉保健部参事監兼健康づくり支援課 課長 藤内修二

講演 2 「平時の地域リハ支援体制の構築が災害リハ支援に生きる～茨城県の鬼怒川水害での実践から～」

講師 茨城県理学療法士会会長・日本理学療法士協会 副会長 斉藤秀之

4. 大分地域リハビリテーション・ケア研究会 15 周年記念講演会

平成 29 年 2 月 26 日（日） 別府ビーコンプラザ 3F「国際会議室」

テーマ「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

基調講演「大分県地域リハビリテーション研究会のあゆみ」

大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

特別講演「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口育子

IV 熊本地震への支援活動

阿蘇医療センター放射線部門の業務を支援するため、平成 28 年 4 月 20 日から 5 月 8 日までの 19 日間、本会会員を同センターへ派遣し、被災患者の放射線検査の業務支援を行った。

主な支援業務は、X 線撮影、CT 検査、MRI 検査で、震災直後は ER 対応はじめ外傷による救急搬入患者の検査が多く、5 月に入った後半は避難住民の心疾患、下肢静脈血栓症、肺炎などが多い傾向であった。

V 大分県原子力災害対策への協力

大分県防災対策推進委員会「原子力災害対策部会」に参画している。また、愛媛県伊方原発事故における伊方町の避難住民の受入れ時スクリーニング検査、被ばく相談等に協力する。

平成 28 年 11 月 27 日（日）に平成 28 年度原子力災害対策セミナー「県民を対象とした放射線汚染スクリーニング講習」を、くにさき総合文化センターにて開催し、本会会員、消防関係者、国東市職員出席のもと、大分県生活環境部防災危機管理課及び本会の放射線量測定員会の講演、実習指導を行った。

VI 地域リハ活動における課題と連携

【研究課題】

1. 体の不自由な患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術について
2. 骨密度検査の精度等について
3. 嚥下造影撮影の工夫、改善について
4. 高次脳機能障害、整形分野に関する画像検査法の研究と読影補助
5. 整形分野、関節リウマチの MRI、CT、US 検査法について
6. 脳梗塞、心筋梗塞、肺塞栓の予防に貢献するための血管超音波検査について

【連携】

1. リハビリの機能評価と画像情報の関連について他職種と連携を行い、有益な検査方法を模索する。
2. 骨密度測定を行う立場から転倒予防教室等や医療チームなどの活動に積極的に参画する。
3. 大規模災害時に他職種と連携し、専門性を生かした支援を行う
4. 読影補助による専門性を生かした他職種への情報提供を行う。
5. ワイヤレス X 線撮影装置、ノート型 US 装置を利用した在宅・往診検査の推進
6. 県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
7. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応する。

公益社団法人 大分県薬剤師会



会長
安東 哲也

1. 会の現状

会員数 1,504 名（平成 29 年 5 月 1 日現在）

当会は、2015 年 10 月に策定された「患者のための薬局ビジョン」に基づき、地域包括ケアシステムの中で、かかりつけ薬剤師・薬局が地域のチーム医療の一員として服薬情報の一元的・継続的な把握や在宅での対応を含む薬学的管理・指導等の機能を果たすことを目標としている。

このようなことに鑑み、当会では「地域ケア会議における薬剤師の参画」「健康サポート薬局制度」「多職種連携による在宅医療」等研修会を開催し、薬剤師の更なる資質向上に努めた。

2. 地域リハ活動の報告

当会では、地域包括ケアシステムの構築に向けて薬剤師の立場から、地域包括ケア会議への参画および「多職種連携による薬局の在宅医療」「健康サポート薬局取得に関する技能習得型研修会」等講習会を開催した。県内の地域薬剤師会において「地域ケア会議参画への取り組み」について普及講演会（11 会場）を行った。

また、薬剤師が地域ケア会議において多職種とより良い連携を図るべく、ケア会議の参加者（多職種）から、薬剤師の助言等々についてアンケート調査を行い、会員に情報提供を行った。

3. 地域リハ活動における課題・今後の取り組み

地域包括ケアシステムの構築に向けて、「地域ケア会議」において薬剤師の職能を発揮すべく、研修会等を開催し資質向上を行うとともに、積極的に多職種と意見交換を行い、より連携を高められるよう努める。

また、今年度は大分県の事業である「薬剤師認知症対応力向上研修」や「高齢者サロン等でのお薬健康相談会実施に向けた人材育成研修」に参画し、患者ならびに地域住民から信頼される薬剤師となるよう目指す。

公益社団法人 大分県理学療法士協会



会長
河野 礼治

I. 会の状況（平成 29 年 3 月 31 日時点）

- [1] 会員数；1,508 人
- [2] 支部構成；6 ブロック（大分、別府速見、県北、県南、久大、豊肥）

II. 活動報告

平成 28 年度の地域リハビリテーションに資する事業として、地域包括ケアシステム構築の推進において、大分県が先駆的な取り組みとして全国的に注目を浴びていることから、リハビリ職の活動・取り組みについて他県からの講演依頼が多数あり講師派遣を行いました。また県内では従来の地域ケア会議助言者派遣のみならず、市町村の介護予防事業や健康維持／増進に対してもヘルスカウンセラーやサロンへの講師派遣を行ってきました。また例年行われているトレーナーサポート事業、一般県民の方々を対象に体力測定及び運動指導、介護従事者を対象とした研修会（出前講座等）も継続的に実施してきました。

[1] 地域保健、地域医療及び社会福祉の増進に関する事業

(1) 健康年齢チェック（体力測定）及び運動指導に関するもの

- ①平成 28 年 10 月 10 日（月）豊後大野市（会場；フレッシュランドみえ）
対象；一般県民（無料） 参加者；65 名
- ②平成 29 年 2 月 26 日（日）みえスポーツクラブ スポーツフェスタ（会場；同上）
対象；一般県民（無料） 参加者；49 名

(2) スポーツ選手向け研修会の開催

- ①平成 28 年 7 月 17 日（日）別府アリーナ会議室
テーマ；「 成長期のスポーツ障害を防ごう!! ～自分で確認、からだのチェック～」
内 容；成長期の運動選手におこりやすい障害やけがを予防する工夫など
対 象；小中学生とその保護者（無料） 参加者；14 名

(3) 介護従事者向け研修会の開催

- ①大分ブロック 平成 28 年 9 月 11 日（日） わさだケアセンター
テーマ；「リハビリテーション介護の提案」一起居・移乗の介助法一
内 容；腰痛を防ぐ介助の仕方の講義および実技 対 象；一般県民 参加者；21 名
- ②県北ブロック 平成 29 年 2 月 24 日（金） 中津胃腸病院
テーマ；トランスファーガイド研修会
内 容；安心・安全・安楽な介助方法の指導（腰痛予防対策について）
対 象；中津市内の施設に勤務している医療介護業務に従事している方 参加者；22 名
- ③県南ブロック 平成 28 年 11 月 16 日（水） 南海医療センター附属介護老人保健施設
テーマ；「起居・移乗動作の介助法 ～実技～」

内 容：安心・安全・安楽な介助方法の指導（腰痛予防対策について）

対 象：佐伯・津久見・臼杵地区の医療・介護・福祉従事者 参加者：51名

- (4) 大分県保健医療団体協議会主催「げんきフェア」・介護研修センターまつりへの協力
- (5) その他、「腰痛予防」の公開講座等

[2] 行政等他組織の事業への協力・支援

- (1) 介護予防事業の講師派遣（教室、サロン、事業所実地支援）

①国東市 ②由布市 ③中津市 ④大分市

- (2) 地域リハビリテーションに関する事業

①地域ケア会議専門職種派遣（姫島村を除く17市町村 助言者 計74名）

②大分県地域包括ケア特別講演会 公開地域ケア会議 出席

③地域ケア会議資質向上のための研修会講師（沖縄県・石川県・山形県）

- (3) 多職種向け研修会講師

①介護労働職員健康管理・腰痛予防、現職者研修（主催：介護労働安定センター、大分県シルバー人材センター連合会、大分県社会福祉介護研修センター）

②大分県在宅医療推進フォーラム

③実践力向上研修・人材育成研修（主催：杵築市、竹田市、大分県北部保健所、熊本県医師会）

- (4) トレーナーサポートに関する事業

①大分県スポーツ学会 スポーツ救護講習会「スポーツと運動器疾患の実技」講師

②公益財団法人大分県体育協会 優秀指定選手メディカルチェックの協力 全7回

- (5) 審査会への委員派遣

①障害者介護給付費等認定審査会（大分市・日田市・臼杵市 計3名）

②介護認定審査会（大分市・日田市・宇佐・高田地域・豊後大野市 計20名）

③大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業 計3か所 3名派遣

- (6) 関係職種連携事業

①大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会 研修会講師

②大分県リハ指導者等確保推進事業委託（人材調査、リーフレット・パンフ作成）

③医療介護福祉政策研究フォーラム 第2回地方自治体特集セミナー（東京）講師

[3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

- (1) 平成28年度理学療法週間事業の開催

平成28年7月10日（日）～7月17日（日）

①般県民対象イベント（健康年齢チェック、タバストリー展示、相談コーナー、記念品配布／参加者109名）

②高校生対象の施設見学（受け入れ施設数33施設／協力施設16施設／参加高校生数88名）

③広報活動等（月刊ぷらざ掲載、イベントポスターの作成、設置、JR車両ポスター作成・掲載）

- (2) 広報誌「志（こころざし）Vol.7」発行 2,000部（A4サイズ、カラー8ページ）

- (3) ニュース「あおぞら」発行及び発送（発行部数；1,900部／発行回数；年4回／会員／発送先；会員所属施設、賛助会員、行政、マスコミ関係、関係団体へ送付）

Ⅲ. 地域リハビリテーション活動における課題・今後の取り組み

今後の地域リハビリテーションに資する事業として、地域包括ケアシステム構築のための事業（高齢者の介護予防や自立支援、健康増進等に関して）への継続的な協力・支援、また健康寿命の延伸や就業者の健康保持のための体力低下予防及び健康増進のための事業展開が今後の取り組みとなります。

公益社団法人 大分県臨床検査技師会



会長

佐藤元恭

I. 協会の現状

当会は、公益社団法人に移行して3年目を迎えた。社員（正会員）総数770名に増加し職能団体として学術9部門（生物化学分析部門、染色体・遺伝子部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、臨床生理部門、臨床血液部門、臨床一般部門、病理細胞部門、臨床検査総合管理部門）は38回の研修会と学術合同講演会や大分県臨床検査医学会など会員相互の情報交換、技術、知識の向上を目指して活動してきた。さらに、組織部は5つのブロック（県南豊肥、県西、県北、別府、大分地区）で各地区のニーズに合わせた研修会をはじめ交流会などを開催し、組織強化（横の繋がり）をしている。企画部は、各地区の市町村主催の健康イベント（リレーフォーライフ・げんきフェア・CKD予防啓発活動など）への協力や各団体との共同開催など、臨床検査技師の業務内容などを市民の方々へ認知していただく事に力を注いでいる。

II. 地域りハ関連の活動・取り組み

公益事業としては、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（日臨技）委託公益事業の全国「検査と健康展」、大分県臨床検査技師会の主催で毎年開催している“がん予防啓発”、“A I D S 予防啓発”、さらに他の医療団体との活動で“げんきフェア”（大分県保健医療団体協議会（11団体共催）、大分地域りハビリテーション研究会の活動として「大分県りハ支援センター・地域りハ研究会合同研修会」「大分地域りハビリテーション研修会」の活動や地域で開催される健康イベント（竹田市、日田市、別府市）への協力なども合わせ公益事業が増えてきた。全国「検査と健康展」では、糖尿病コーナー・動脈硬化コーナー・肺機能検査コーナー・メタボ検査コーナーなどに分け簡易血糖検査、肺機能検査、呼気CO濃度、血管年齢検査、脈波図検査、頸部血管エコー、骨密度測定、体成分計測（InBody検査）、健康相談コーナーには臨床専門医会から派遣して頂いた2名の医師と臨時診療所開設者として大分大学の内科専門医1名のご協力を頂いた。栄養相談コーナーには、大分県栄養士会から2名の管理栄養士の方にご協力いただいた。来場（受付）数は、開催会場の変更もあり155名と昨年を下回ったが、多くの市民の参加をいただき、アンケートには健康意識の高い方々から来年に向けての希望などたくさんの意見をいただいた。また、28年度は3か所の健康イベントに協力依頼があり竹田市、日田市、別府市で健康チェックを行い特定健診の受診率向上やCKDの予防啓発を行った。

大分県医師会との共同事業として県医師会精度管理調査を実施している。効率的な医療を推進する上では各医療機関の検査結果を相互に活用できる体制作りを構築しなければなりません。その意味でも検査精度向上のための『検査の標準化・共用基準範囲』が必要となります。

大分県医師会臨床検査精度管理調査は1988年（昭和63年）から始まり、平成28年度で29回となります。初回の参加は99施設、調査項目は臨床化学のみでAST（GOT）、総コレステロール、血

糖の3項目で実施されましたが、平成28年度は190施設が参加して臨床検査の全8分野で精度管理調査が行われました。第1回目の精度管理調査ではASTのバラツキを示すCV(%)が9.52～13.66%に対して今年度は2.29～3.51%、総コレステロールは6.82～7.50%に対して1.69～1.89%、血糖は5.23～5.81%に対して1.74～2.22%になるなど施設間差は着実に小さくなっており、大きな成果を挙げています。回を重ねるごと、現場からの要望に対応するため、試料を測定する定量検査だけでなく、一般・血液・病理細胞のフォトサーベイや微生物のグラム染色など臨床検査の現場で要求されることに対応してきました。

Ⅲ. 地域リハビリ活動における課題・今後の展開

課題としては、未だリハビリテーションの名称を聞いて臨床検査技師会との関わりに疑問を持つ会員が多いのが現状である。しかし、地域包括ケアとして捉えると地域や自治体を含めたチーム医療と考えられる。

現在、日本臨床衛生検査技師会では、チーム医療への推進をおこなっている。平成26年度から3カ年計画で『検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会』を実施した。39都道府県で開催され修了者5,000名が受講した。また、先駆的チーム医療実践講習会を通じた普及啓発や教育研修など認知症検査技師の研修や病棟業務課題解決実践講習会、病棟業務に必要な能力開発実践研修会など、在宅医療に関わる臨床検査の業務拡大に向けての研修を行っている。病気になった人たちが病院(入院)だけでなく、退院後に施設入所や自宅介護などで通院することになると、私たちとの関わりは当然繋がっている。病院に入院中の患者さんや検査室で患者さんから採取された検体だけを見るのではなく、患者さんの背景を広い視野で観るためには、地域リハビリテーション研究会のような多団体との研修が必要だと思われる。今後も大分県地域リハビリテーション研究会との関わりの中から、臨床検査技師にできる業務を展開し医療スタッフの一員として研鑽していきたい。

今後の展望としては、2025年の医療におけるメディカルスタッフとしての臨床検査技師の活動・展開を考え、日本臨床衛生検査技師会の協力を得ながら、医療人として責任が果たせる技師、患者中心の仕事ができる技師、自己研磨できる技師、後継者が育成できる臨床検査技師の育成が大きな課題と考える。今年度は、次世代リーダー育成研修会、e-ランニングによる個別研修等を予定している。渉外に於いては、外来・病棟において臨床検査技師の専門性を生かして活躍できる技師、検体採取から検査から検査説明までの流れができる技師等の育成。認知症対策への参画・認知症の早期発見・早期治療に貢献できる技師の育成や、災害発生時の体制づくりの計画を準備中である。

公益社団法人 大分県臨床工学技士会



理事長
小 川 一

①会員数 330 名

②学術に関すること

・教育セミナーの開催

バスキュラーアクセス、輸液・シリンジポンプ、消化器内視鏡
呼吸器、循環器、代謝の6件開催した。

・第35回大分人工透析研究会支援参加協力 場所 大分市（トキハ会館）

・第8回大分県臨床工学学会市民公開講座の開催

日時：平成28年11月20日（日）

場所：アルメイダ研修会館 5階 研修ホール

演者 特定社会保険労務士・キャリアカウンセラー 西村 慶治様

「ワークライフバランスの実現に向けて私たちが取り組むべきこと」

～チームで働き、メンバー1人ひとりの『持ち味』を活かす～

関連団体との交流に関する事

1. 災害対策に関する事

平成28年4月15日（金）～19日（火）熊本地震の透析患者対応

（受入れ施設の調整～県より依頼）

平成28年4月26日（火）、27日（水）当会より医療支援ボランティアを3名派遣

平成28年8月20日（土）「大分県透析医療 第2回災害を考える日」を開催

“大分県臨床工学技士会の取り組み（2016）”

～熊本地震における対応と今後の課題～ を報告

平成28年8月23日（火）～12月15日（木）保健所別会議（県内7か所）

平成28年9月1日（木）・日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力

・“おおいた医療情報ほっとネット”を利用した災害時情報入力訓練に協力、

大分県福祉保健部健康づくり支援課と連携

事前に県内の施設に参加を呼び掛ける（災害ネットワークを利用）

平成28年10月20日（木）「第4回大分県透析医療フォーラム」を開催

“大分県臨床工学技士会の災害対策状況”

～地区ブロックの取り組みについて～ を報告

平成28年11月10日（木）関連団体との意見交換会

大分県福祉保健部健康づくり支援課・大分人工透析研究会
・県内透析施設を対象にアンケート調査を行う（災害対策について）

平成 28 年 12 月 17 日（土） 保健所別会議の反省会

大分県福祉保健部健康づくり支援課と当会で行う

平成 29 年 1 月 30 日（月） 関連団体との意見交換会

大分県福祉保健部健康づくり支援課・大分人工透析研究会

・アンケートの集計結果について

2. 各医療関係団体と交流を図り県民への公益事業を行う

(1) 大分県地域リハビリテーション研究会

第 13 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会

日時：平成 28 年 7 月 10 日（日） 会場：別府ビーコンプラザ国際会議室（別府市）

内容：テーマ『地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割』

シンポジウム「大分県における地域リハビリテーションと災害時の対策」

スタッフ派遣

大分県地域リハビリテーション研究会 15 周年記念講習会

日時：平成 29 年 2 月 26 日（日） 会場：別府ビーコンプラザ国際会議室（別府市）

内容：基調講演「大分県リハビリテーション研究会のあゆみ」

特別講演「患者と医療者のコミュニケーションを考える」

NPO 法人ささえあい医療人権センター COML 理事長 山口育子 先生

参加者：83 名（スタッフ含む） スタッフ派遣

運営部会、役員会への参加

(2) おおいた専修学校魅力フェア

日時：平成 29 年 2 月 26 日（日） 会場：別府ビーコンプラザ国際会議室（別府市）

出展者数 専門学校 16 校 企業・団体 41 社 職業体験 11 分野

参加数 高校 10 校 1,219 人 ブース出展、スタッフ派遣

(3) 他職種および他県の技士会員との交流・意見交換

ランニング部活動（他職種とのスポーツによる交流）

第 30 回大分県石油感謝の日の集い 大分リレーマラソン 2016 参加

平成 28 年 9 月 22 日 大分銀行ドーム

大分県臨床心理士会



会長

佐藤 晋治

1. 会の現状

正会員 244名、準会員 2名（平成28年4月 現在）

〔部門〕研修、子育て・発達支援（福祉）、学校臨床、産業組織、医療保健、被害者支援、倫理、広報、代議員、事務局

2. 地域リハ関連の活動・取り組み

（1）会議への参加

- ・第14回拡大運営会議 平成27年5月17日（出席者：北吉直子）
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 28年度の役員会議・運営会議 井野辺病院
役員会：年2回（出席者：佐藤晋治）運営部会：年6回（出席者：羽坂雄介）

（2）研修会の参加・発表

- ・第13回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会 合同研修会
日 時：平成28年7月10日（火） 場所：別府ビーコンプラザ
テーマ：「地域包括ケアシステム：災害時の地域リハビリテーションの役割～有事に備えて、今からやるべきこと！～」
*参加：佐藤晋治、羽坂雄介
- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第7回 医療保健領域担当者研修会
日 時：平成28年12月11日（日）10：00～16：00 場所：ホテル機山館
内 容：「地域包括ケアシステムについて」厚生労働省老健局振興課 枝光みゆき氏
・各県の取り組み報告：静岡県、大阪府
・日本臨床心理士会医療保健領域委員会活動報告 ・グループ討論及び報告
*参加：加藤真樹子
- ・第7回大分県リハビリテーション研究会 15周年記念研修会
日 時：平成29年2月26日（日） 場所：別府ビーコンプラザ
テーマ：「患者と医療者のコミュニケーションを考える」
*参加：佐藤晋治
*懇親会参加：加藤真樹子、北吉直子、羽坂雄介

（3）研修会講師

- ・平成28年度 検査説明・相談のできる臨床検査技師養成講習会

日 時：平成 29 年 1 月 8 日（土） 場所：ホルトホール大分

テーマ：「患者の心理」

*講師：井尾香里

（4）自主研修会の開催

・平成 28 年度 第 11 回 大分県医療現場と「つながる」臨床心理士の集い

（学校臨床部門との共催：平成 28 年度第 5 回スクールカウンセラー研修）

日 時：平成 28 年 12 月 4 日（日）10:00～13:00 場所：ホルトホール 409 会議室（交流会含む）

参加者：大分県内の臨床心理士 26 人

趣 旨：「生涯発達」に沿った医療臨床心理の現場からの報告をメインテーマとして、各領域と医療現場を横断的につなぐ研修会をシリーズ開催し、更なるネットワーク作りを行う。

テーマ：「学校臨床と医療領域との連携と支援を考える」（シンポジウム）

●司会進行 麻生健二（佐藤病院）、岸本由紀（大分県スクールカウンセラー）

●シンポジスト

「今の学校とスクールカウンセラー ～医療とつながるとき～」 阿部史郎先生

（大分県スクールカウンセラー）

「医療領域から学校臨床への SOS とラブコール ～思春期の高次脳機能障害の事例を通して～」

中川裕也先生（諏訪の杜病院）

（5）HIV/AIDS 部門活動 ～平成 28 年度大分県エイズカウンセラー派遣事業～

大分県の委託事業として下記のとおり活動した。

- ・主として血液製剤で感染した人と家族（遺族を含む）、および関係者への支援
- ・九州沖縄地区 HIV カウンセリング会議・研修会（平成 29 年 2 月 3 日：古賀玄子）
- ・大分県エイズカウンセラー派遣事業連絡会議

（平成 28 年 5 月 17 日，平成 28 年 7 月 5 日，平成 28 年 11 月 1 日，平成 29 年 1 月 17 日，平成 29 年 3 月 28 日：大嶋美登子、今瀬玄子、稗田真由美）

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 30 年度に、国家資格「公認心理師」の第 1 回目の試験が実施され、平成 31 年度から「公認心理師」が誕生いたします。今後、徐々にマンパワー不足を解消し、病や障がいを抱える人々への心のケアや生活を視野にいたした心理的支援、家族支援、地域医療や在宅に携わるスタッフへのメンタルサポートなどに対して心理職として関わりを強化し、地域医療サービスを担う一員として貢献したいと思っています。また「地域包括ケアシステム」や「アウトリーチ活動」などにチームの一員として活動していけるよう努力を続けていきたいと考えています。

来年度も、より一層他職種との協働と連携を図り、地域で必要とされる職種を目指して努力していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

連絡先一覧

1. 県リハセンター・広域支援センター

○大分県リハビリテーション支援センター（県リハセンター）

独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯布院病院 （旧：湯布院厚生年金病院） 〒 879-5193 大分県由布市湯布院町川南 252 TEL (0977-84-3171) FAX (0977-84-5880)

○大分県地域リハビリテーション広域支援センター

圏域	地域	施設名	所在地	TEL/FAX
東部	東国東	国東市民病院	大分県国東市安岐町下原 1456	0978-67-1211 0978-67-3190
	別杵速見	農協共済別府リハビリテーションセンター	大分県別府市鶴見 1026-10	0977-67-1711 0977-67-1712
中部	大分	井野辺病院	大分県大分市中尾 255 番地	097-586-5522 097-586-5656
		大分リハビリテーション病院	大分県大分市大字志村 字谷ヶ迫 765 番地	097-503-5000 097-503-5888
	臼津	臼杵市医師会立コスモス病院	大分県臼杵市戸室 1131-1	0972-62-5599 0972-62-3928
南部	佐伯	長門記念病院	大分県佐伯市鶴岡町 1-11-59	0972-24-3000 0972-23-6640
豊肥	大野	社会医療法人 婦巖会みえ病院	大分県豊後大野市三重町赤峰 1250-1	0974-22-2222 0974-22-0222
	竹田	大久保病院	大分県竹田市久住町栢木 6026-2	0974-77-2341 0974-77-2247
西部	日田玖珠	大分県済生会日田病院	大分県日田市三和 643-7	0973-24-1100 0973-22-1269
北部	中津	川嵩整形外科病院	大分県中津市宮夫 17	0979-24-0464 0979-24-6258
	宇佐高田	佐藤第一病院	大分県宇佐市法鏡寺 77-1	0978-32-2110 0978-33-4918

2. 県内専門職能団体（拡大運営会議構成団体） 連絡先

(五十音順)

団体名	住所	TEL	FAX
(一社) 大分県医療ソーシャルワーカー協会	870-0307 大分市坂ノ市中央1丁目269番地 坂ノ市クリニック内	097-574-7722	097-574-7712
(公社) 大分県栄養士会	870-0912 大分市原新町9番2号	097-556-8810	097-556-8921
NPO 大分音楽療法研究会	870-0252 大分市大在 1-12-27 (有) 塚原楽器サービス内	0972-24-1109	
NPO法人 大分県介護支援専門員協会	870-1133 大分市大字宮崎 1367-1 甲斐ビル 215号	097-504-7500	097-504-7501
(一社) 大分県介護福祉士会	870-0921 大分市萩原 4-8-58 大分県整骨会館 3F	097-551-6555	097-551-6555
(公社) 大分県看護協会	870-0855 大分市豊饒 310-4	097-571-7117	
(公社) 大分県言語聴覚士協会	870-0048 大分市碩田町 1-1-27 3階	097-529-7105	097-529-7105
(公社) 大分県作業療法協会	870-0038 大分市西春日町 3-2 大分県作業療法協会ビル	097-547-8662	097-547-8663
(一社) 大分県歯科医師会	870-0819 大分市王子新町 6-1	097-545-3151	097-545-3155
(一社) 大分県歯科衛生士会	870-0819 大分市王子新町 6-1 大分県歯科医師会館内	097-545-3203	097-545-3203
大分県視能訓練士会	879-5593 由布市挾間町医大ヶ岡 1-1 大分大学医学部附属病院眼科医局内	097-586-5905	
大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会	870-0907 大分市大津町 2-1-41	097-558-0300	097-558-6001
大分県地域リハビリテーション医師懇話会	870-0862 大分市中尾 255	097-586-5522	097-586-5656
大分県地域リハビリテーション研究会	870-0945 大分市津守 8887	097-567-1277	097-567-7377
(一社) 大分県病院協会	870-8563 大分市駄原 2892-1	097-540-5526	097-540-5597
(公社) 大分県放射線技師会	870-0844 大分市大字古国府 1155番地の1 (株)マイダスコミュニケーション内	097-574-7625	097-574-7715
(公社) 大分県薬剤師会	870-0855 大分市大字豊饒字光屋 441-1	097-544-4405	097-544-1051
(公社) 大分県理学療法士協会	870-0127 大分市大字森町 501-3	097-547-7797	097-521-9077
(公社) 大分県臨床検査技師会	876-0857 佐伯市常磐西町 11-20	0972-22-6442	0972-22-6414
(公社) 大分県臨床工学技士会	870-1195 大分市宮崎 1315	097-569-3121	097-567-1612
大分県臨床心理士会	874-8501 別府市北石垣 82 別府大学内	0977-67-0101	

※介護保険サービス事業所の連絡先は県庁ホームページの「介護保険指定事業所一覧」から検索ください。

※地域包括支援センター一覧表は大分県庁ホームページより検索ください。

大分県庁ホームページ
www.pref.oita.jp

地域リハビリテーション 活動報告書(平成28年度版)

発行日 平成29年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 根橋良雄

編集 事務部長 堀川利美
県リハ運営部長 大隈和喜
副運営部長 神田真一
運営部事務長兼運営部長補佐 會川裕子
支援連携室 大田 繁

由布市湯布院町川南 252
JCHO 湯布院病院内
TEL 0977-84-3171
FAX 0977-84-5880

地域リハビリテーション活動報告書(平成28年度版)

発行日 平成29年7月1日

発行責任者 大分県リハビリテーション支援センター
センター長 ……………根橋 良雄

編集 事務部長 ……………堀川 利美
県リハ運営部長 ……………大隈 和喜
副運営部長 ……………神田 真一
運営部事務長兼運営部長補佐 ……會川 裕子
支援連携室 ……………大田 繁

由布市湯布院町川南252 JCHO湯布院病院内
TEL:0977-84-3171 FAX:0977-84-5880